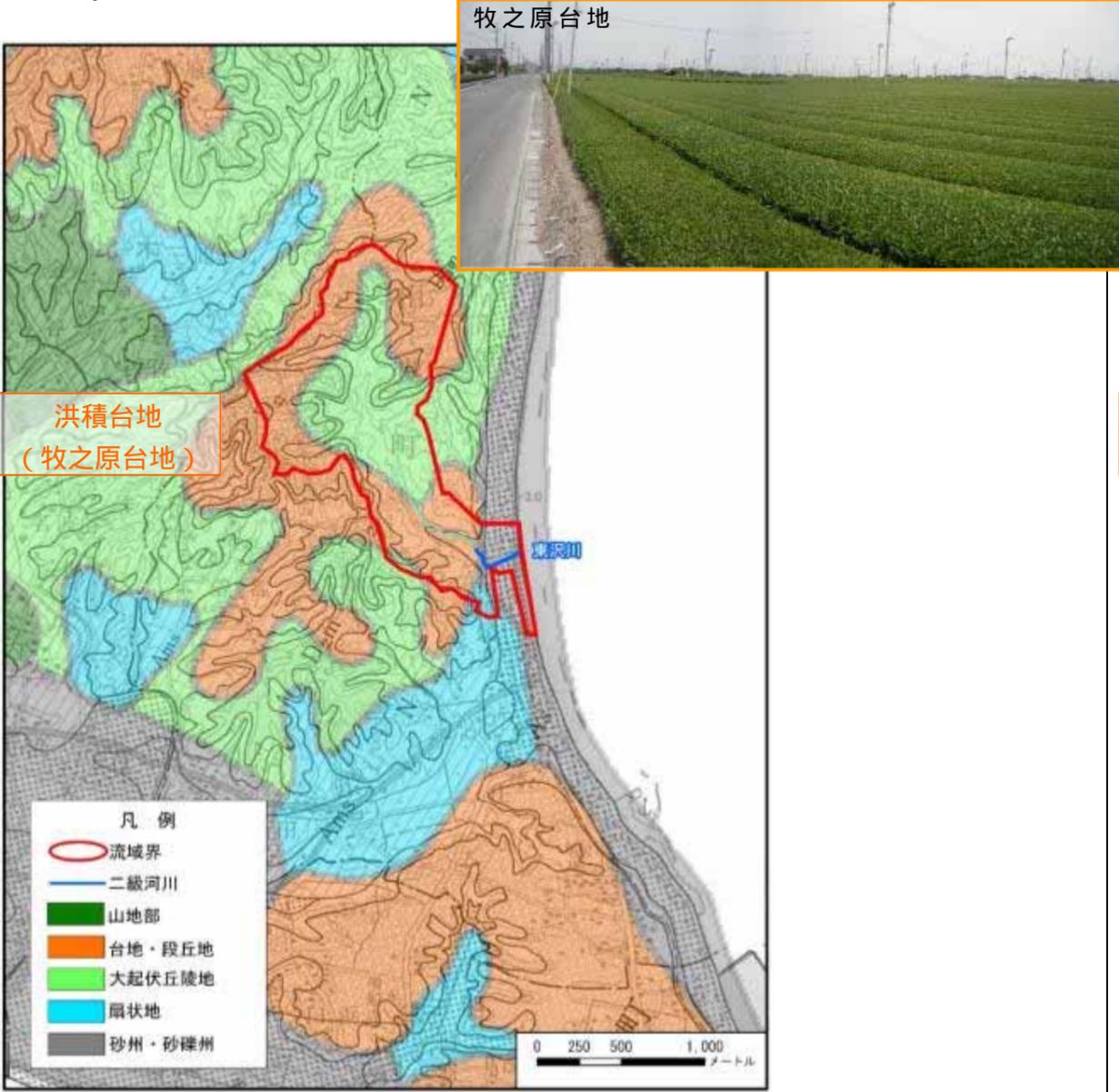
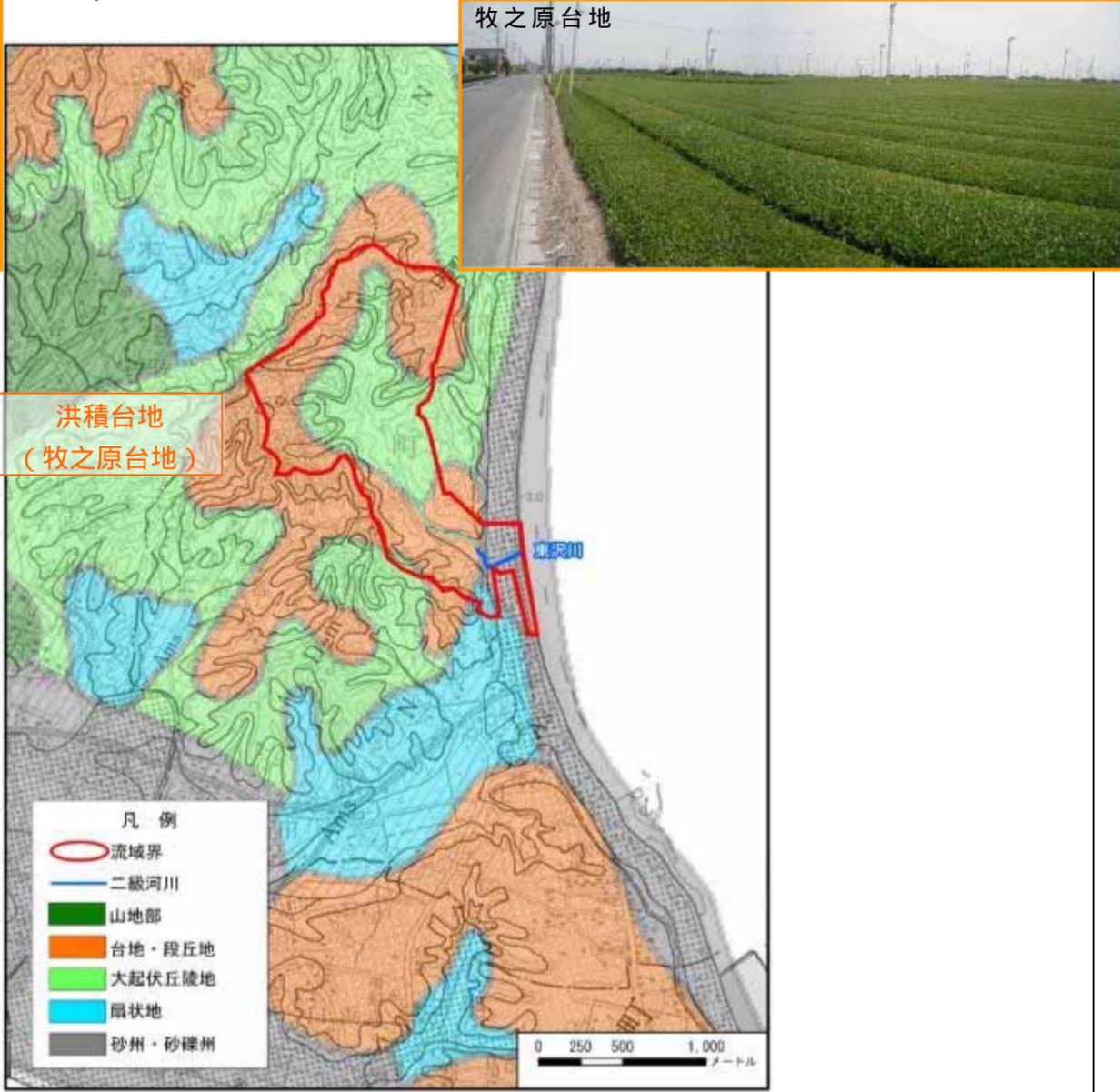


東沢川水系河川整備計画 本文対比表

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>第1 流域及び河川の概要</p> <p>1 流域の概要</p> <p>東沢川は、その源を牧之原市地頭方に発し駿河湾に注ぐ、流域面積約 1.6km²、幹川流路延長 0.5km の二級河川である。牧之原市は平成 17 年に相良町と榛原町が合併して誕生しており、東沢川流域は旧相良町内に位置している。</p> <p>流域の地形は、源流付近に標高 40m前後の牧之原台地が、中流の一部には河川の侵食・堆積作用により谷底平野が形成されている。また、河口部は、浜堤の上に汀線の砂が吹き上げられて成長した旧砂丘が海岸線に並行して長く続いている。</p> <p>河道は、掘込河道でコンクリート護岸が施工されており、川幅は狭い。</p>  <p>図 1-2 東沢川の現況</p>	<p>第1 流域及び河川の概要</p> <p>1 流域の概要</p> <p>東沢川は、その源を牧之原市地頭方に発し駿河湾に注ぐ、流域面積約 1.6km²、幹川流路延長 0.5km の二級河川である。牧之原市は平成 17 年に相良町と榛原町が合併して誕生しており、東沢川流域は旧相良町内に位置している。</p> <p>流域の地形は、源流付近に標高 40m前後の牧之原台地が、中流の一部には河川の侵食・堆積作用により谷底平野が形成されている。また、河口部は、浜堤の上に汀線の砂が吹き上げられて成長した旧砂丘が海岸線に並行して長く続いている。</p> <p>河道は、掘込河道でコンクリート護岸が施工されており、川幅は狭い。</p>  <p>図 1-2 東沢川の現況</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>(1) 流域の地形・地質</p> <p>流域の地形は、源流付近に標高 40m 前後の牧之原台地が、中流の一部には河川の侵食・堆積作用により谷底平野が形成されている。また、河口部は、浜堤の上に汀線の砂が吹き上げられて成長した旧砂丘が海岸線に並行して長く続いている。</p> <p>東沢川の源である牧之原台地は扇頂^{せんちよう}高度が 270m で、日本の洪積台地^{こうせきだいち}のうちでは最も高いものの一つに数えられる。流域内は標高 200m 以上の地域がほとんどみられず、標高 100m 以下の地域が大部分を占め、標高 50~100m の台地が海岸線に向かって指状に伸びている。</p> <p>この指状に伸びた台地は、牧之原台地に端を発した各河川の侵食作用によって形成されたもので、これらの川は台地の合間の谷底平野を流れ、沖積平野を抜けて海岸線へと向かっている。</p> <p>東沢川流域の地形は、海岸線近くまで牧之原台地がせまっておき、平坦地がほとんどない地形である。</p>  <p>図 1-3 地形分類図 (出典：土地分類図（地形分類図）1971 年（色調を加工）)</p>	<p>(1) 流域の地形・地質</p> <p>流域の地形は、源流付近に標高 40m 前後の牧之原台地が、中流の一部には河川の侵食・堆積作用により谷底平野が形成されている。また、河口部は、浜堤の上に汀線の砂が吹き上げられて成長した旧砂丘が海岸線に並行して長く続いている。</p> <p>東沢川の源である牧之原台地は扇頂^{せんちよう}高度が 270m で、日本の洪積台地^{こうせきだいち}のうちでは最も高いものの一つに数えられる。流域内は標高 200m 以上の地域がほとんどみられず、標高 100m 以下の地域が大部分を占め、標高 50~100m の台地が海岸線に向かって指状に伸びている。</p> <p>この指状に伸びた台地は、牧之原台地に端を発した各河川の侵食作用によって形成されたもので、これらの川は台地の合間の谷底平野を流れ、沖積平野を抜けて海岸線へと向かっている。</p> <p>東沢川流域の地形は、海岸線近くまで牧之原台地がせまっておき、平坦地がほとんどない地形である。</p>  <p>図 1-3 地形分類図 (出典：土地分類図（地形分類図）1971 年（色調を加工）)</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）

流域の地質は、沿岸の沖積平野と牧之原台地の礫層、その周辺の相良層群と呼ばれる砂泥礫の互層で構成されている。

また、これらは当時両岸の山地を形成していた相良層群や掛川層群ともに隆起したものであるが、泥質分が多く軟弱で浸食されやすい地質である。

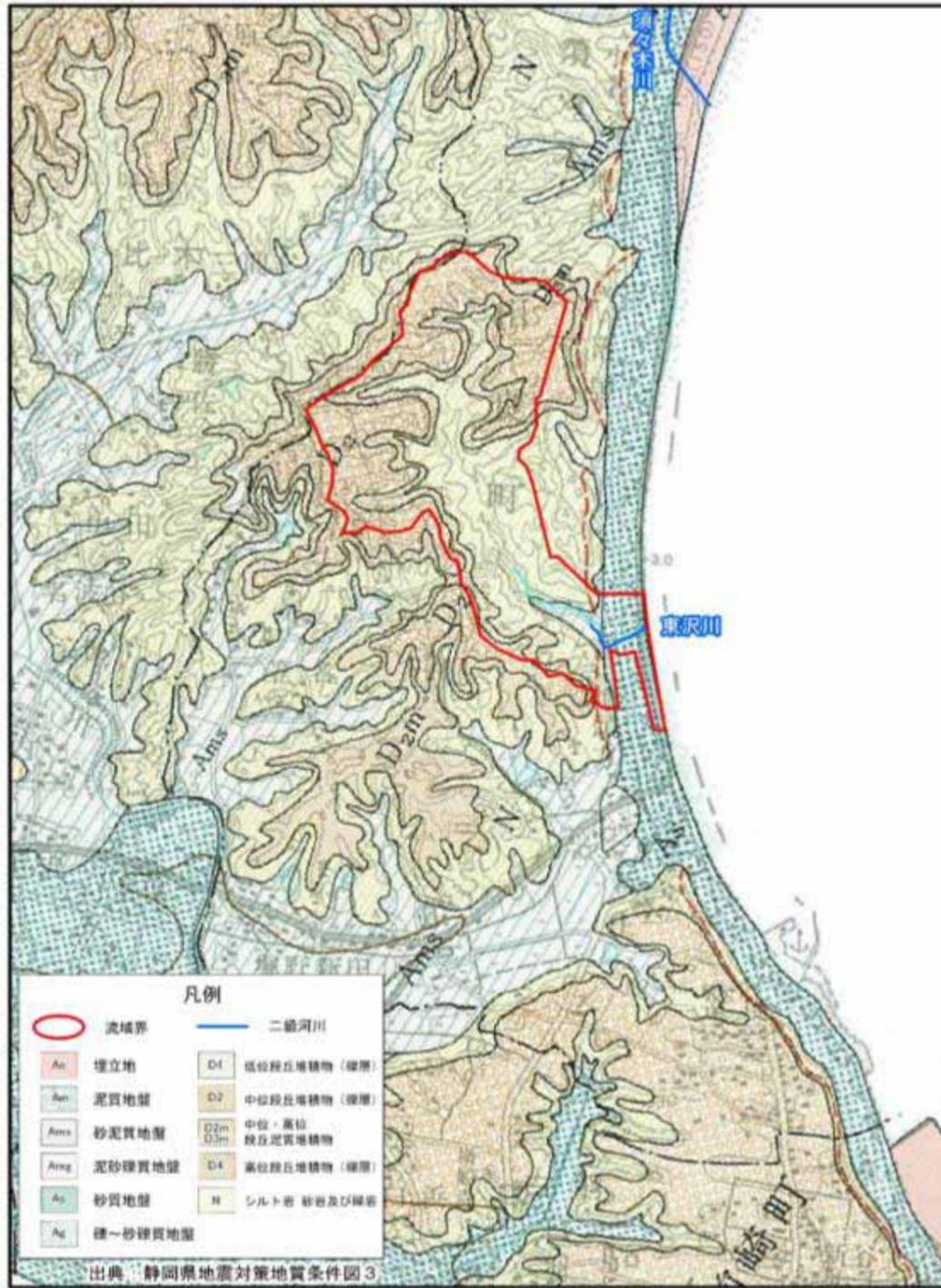


図 1-4 表層地質図

(出典：静岡県地震対策地質条件図 3)

東沢川水系河川整備計画（変更原案）

流域の地質は、沿岸の沖積平野と牧之原台地の礫層、その周辺の相良層群と呼ばれる砂泥礫の互層で構成されている。

また、これらは当時両岸の山地を形成していた相良層群や掛川層群ともに隆起したものであるが、泥質分が多く軟弱で浸食されやすい地質である。

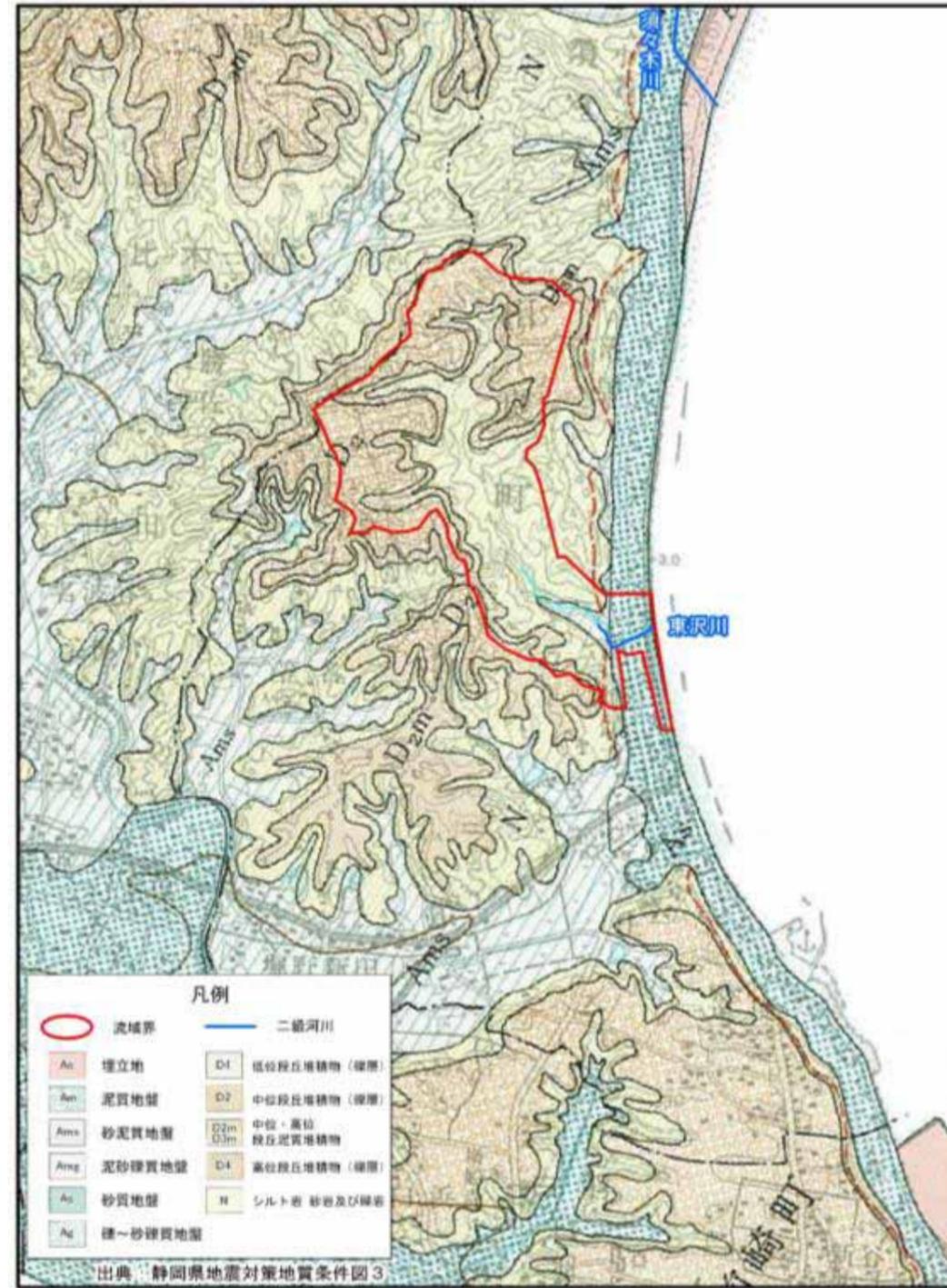


図 1-4 表層地質図

(出典：静岡県地震対策地質条件図 3)

備考

(2) 流域の植生

牧之原市の現存植生は、沿岸部の低地では自然裸地（海岸砂丘）、畑地雑草群落、水田雑草群落などが広がっている。

内陸部の丘陵地にはアカマツ植林、シイ・カシ萌芽林、スギ・ヒノキ・サワラ植林などが、また、台地部には常緑果樹園（主にミカン畑）、茶畑などが、さらに台地間・丘陵地間の低地部には水田雑草群落広がっている。

潜在自然植生は、イノデ・タブ群落の照葉樹林帯を構成する樹種であるが、現況では、社寺林としてわずかに点在しているにすぎない。

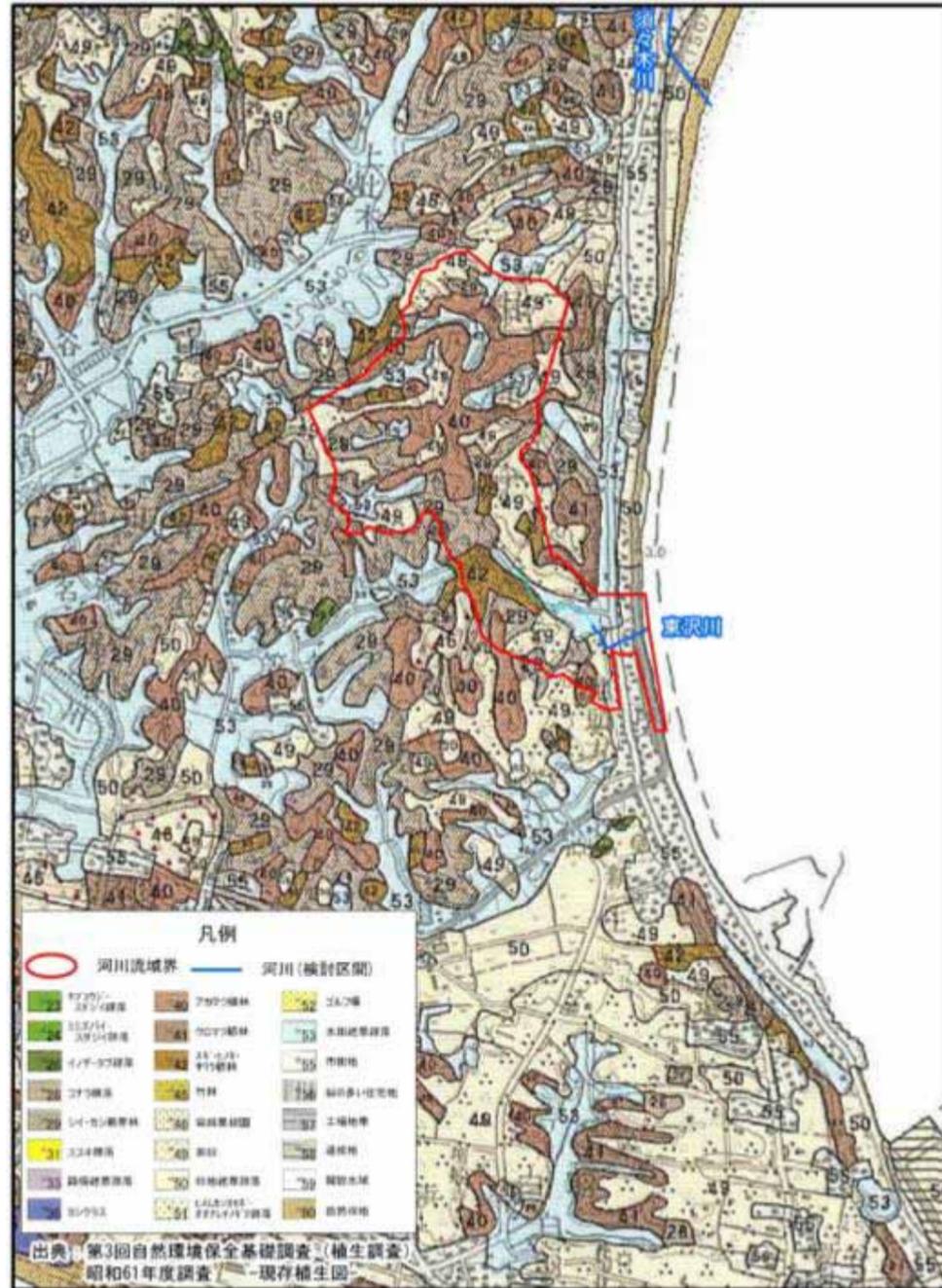


図 1-5 流域の植生

(2) 流域の植生

牧之原市の現存植生は、沿岸部の低地では自然裸地（海岸砂丘）、畑地雑草群落、水田雑草群落などが広がっている。

内陸部の丘陵地にはアカマツ植林、シイ・カシ萌芽林、スギ・ヒノキ・サワラ植林などが、また、台地部には常緑果樹園（主にミカン畑）、茶畑などが、さらに台地間・丘陵地間の低地部には水田雑草群落広がっている。

潜在自然植生は、イノデ・タブ群落の照葉樹林帯を構成する樹種であるが、現況では、社寺林としてわずかに点在しているにすぎない。

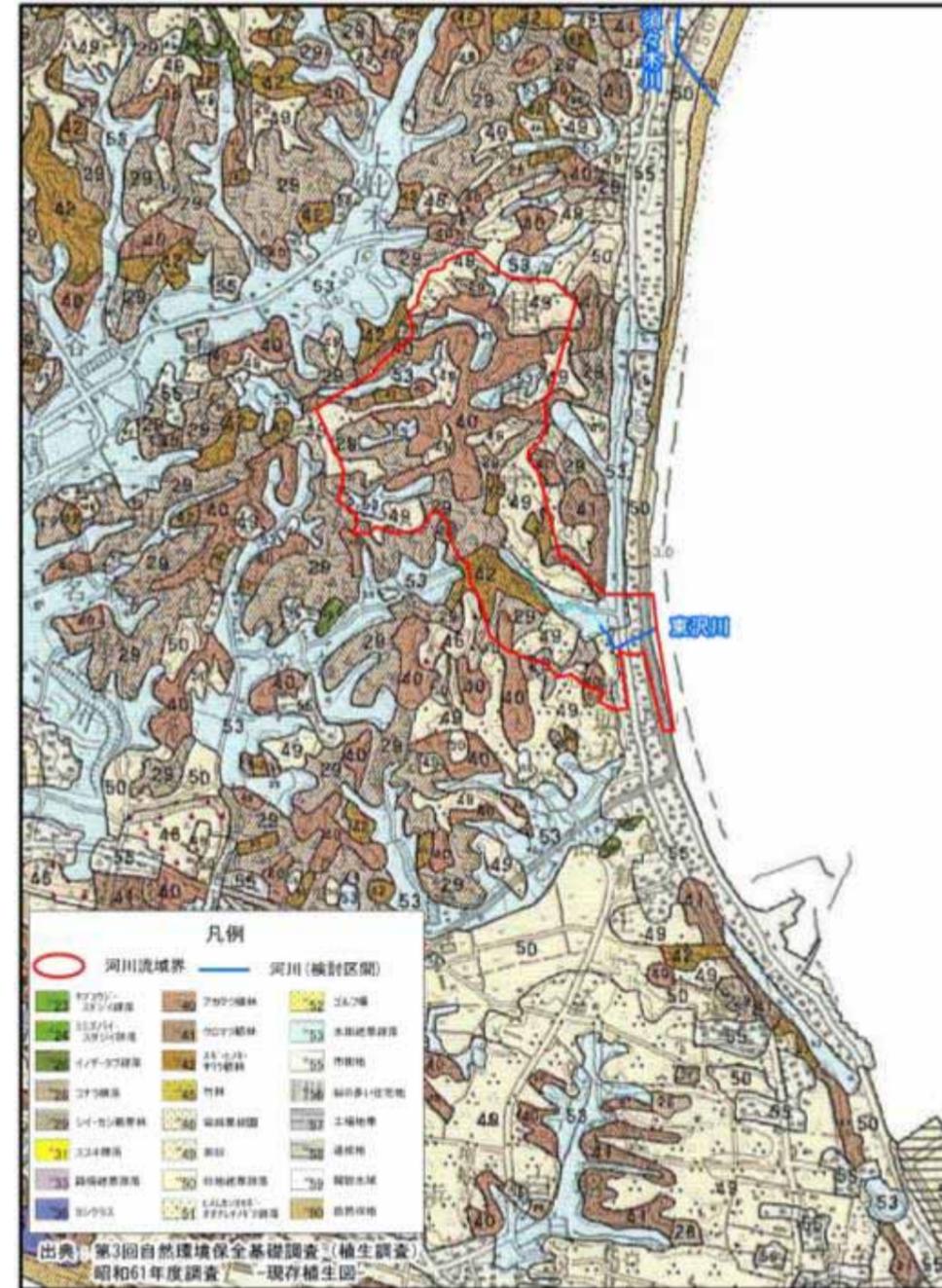


図 1-5 流域の植生

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）

(3) 流域の気候

流域の気候は、静岡県内の大部分の地域と同様に温暖で、夏湿潤、冬乾燥の太平洋側気候を示している。夏季は比較的高温多湿で、海陸風により日中の気温は著しく高くなることはない。また、冬季は晴天が多く日照時間が長い。

流域の年平均気温の平年値(御前崎測候所：平成 2～21 年)は約 16.6℃であり、平均年間降水量は約 2,050mm である（全国平均値より約 2 割多い）。

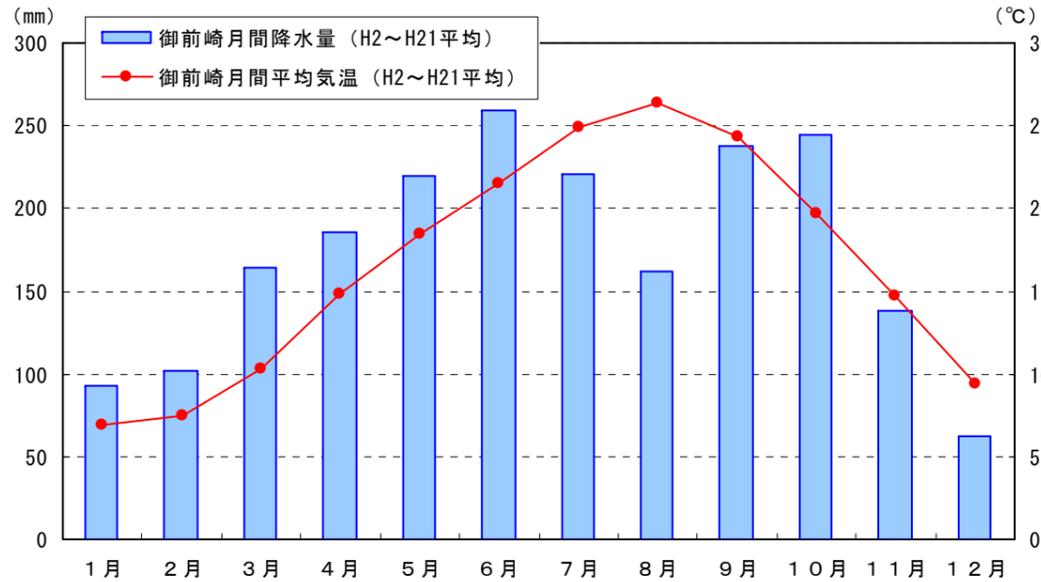


図 1-6 月間平均気温と月間降水量

(資料：気象庁データ)

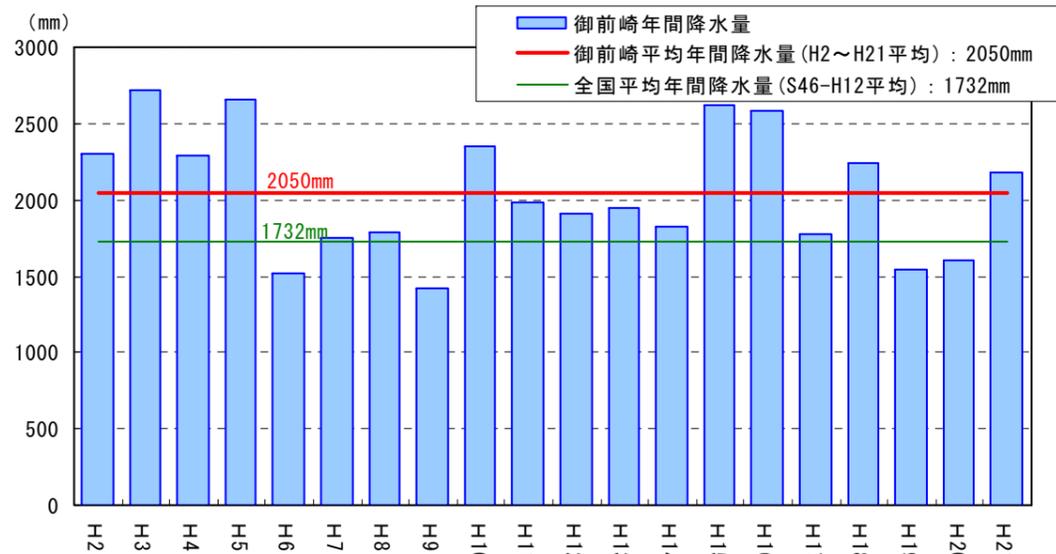


図 1-7 年降水量の経年変化

(資料：気象庁データ)

東沢川水系河川整備計画（変更原案）

(3) 流域の気候

流域の気候は、静岡県内の大部分の地域と同様に温暖で、夏湿潤、冬乾燥の太平洋側気候を示している。夏季は比較的高温多湿で、海陸風により日中の気温は著しく高くなることはない。また、冬季は晴天が多く日照時間が長い。

流域の年平均気温の平年値(御前崎測候所：平成 2～27 年)は約 16.6℃であり、平均年間降水量は約 2,100mm である（全国平均値より約 2 割多い）。

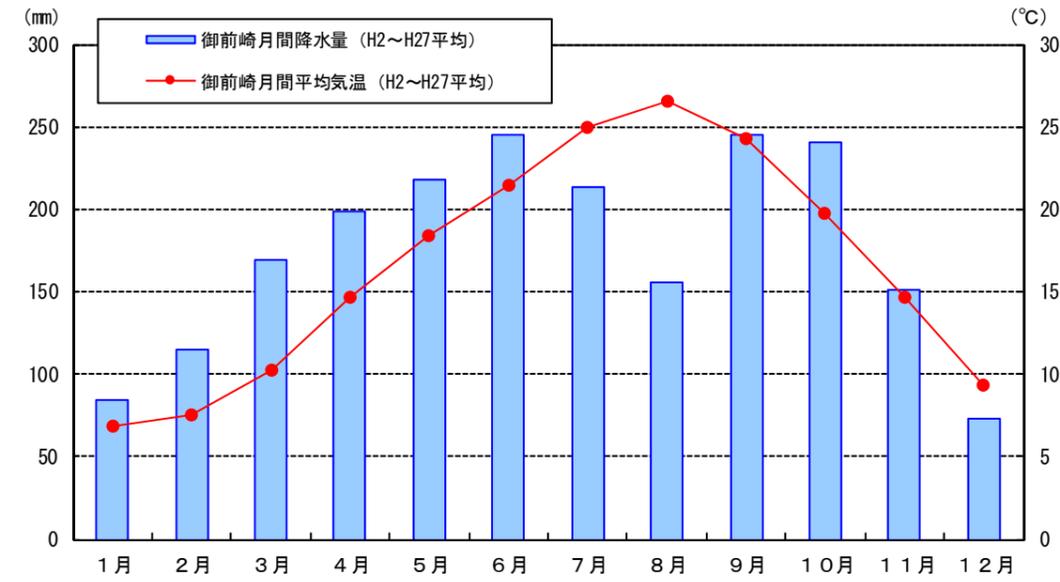


図 1-6 月間平均気温と月間降水量

(資料：気象庁データ)

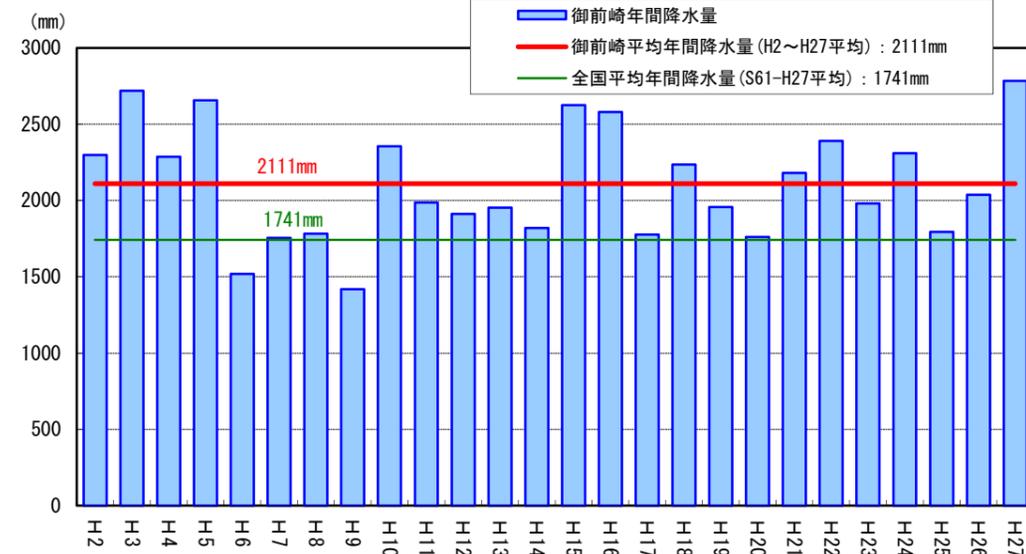


図 1-7 年降水量の経年変化

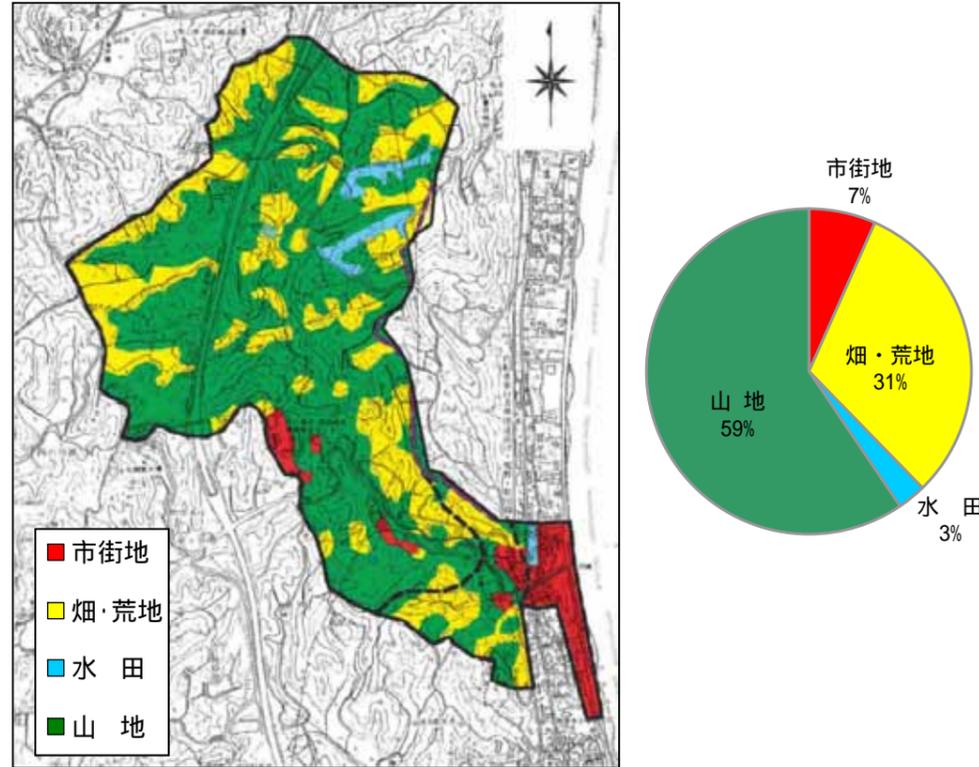
(資料：気象庁データ)

備考

（４）土地利用

流域の 59%が山林であり、市街地は河口部付近に形成され、流域の約 7%程度である。なお、近年、ほとんど市街地は増えていない。

河川周辺の土地利用は、下流部は国道 150 号沿道を中心に市街地が発達しており、中・上流では山林が広がっている。また、標高の高い台地に茶畑が広がっている。



（牧之原市白図を背景に使用）

図 1-8 土地利用状況

流域の人口は、牧之原市のうち東沢川流域が位置する旧相良町では、戦後間もない昭和 20 年代には約 30,000 人であったが、昭和 50 年頃には約 25,000 人まで減少した。その後、平成 7 年頃までに約 27,000 人まで増加したが、平成 12 年頃を境に、近年は減少傾向である。

一方、世帯数は年々増加しており、核家族化が進んでいることが伺える。

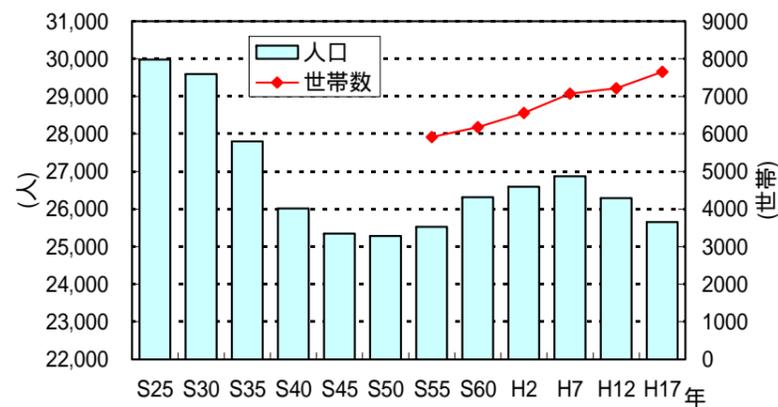
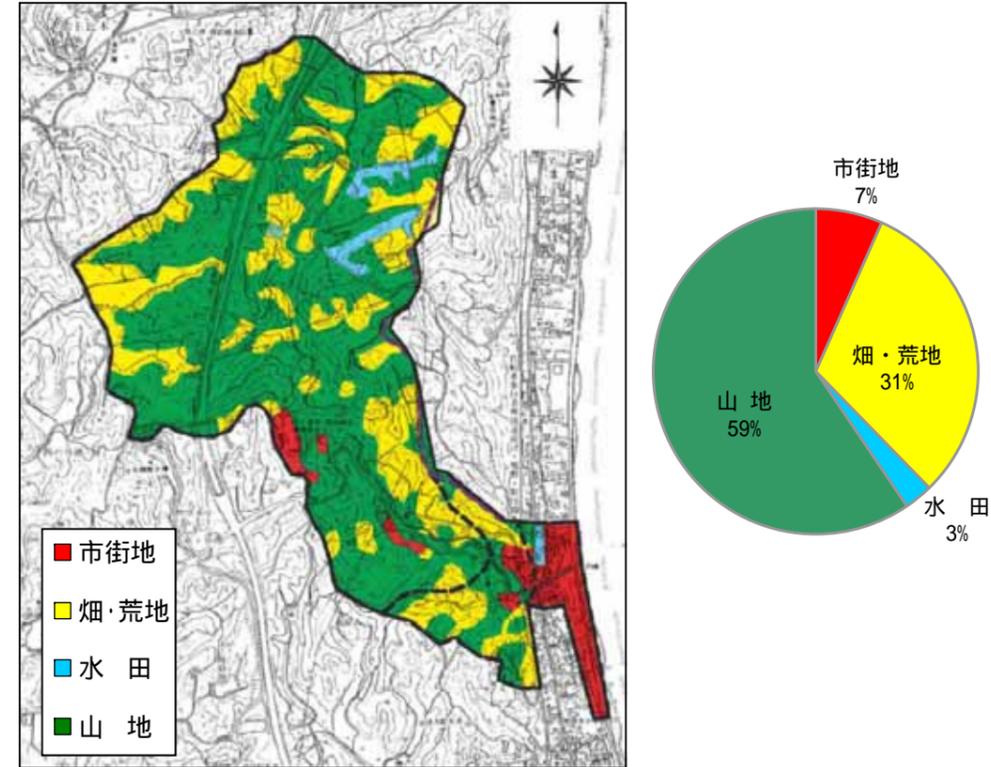


図 1-9 人口と世帯数の推移（出典：国勢調査）

（４）土地利用

流域の 59%が山林であり、市街地は河口部付近に形成され、流域の約 7%程度である。なお、近年、ほとんど市街地は増えていない。

河川周辺の土地利用は、下流部は国道 150 号沿道を中心に市街地が発達しており、中・上流では山林が広がっている。また、標高の高い台地に茶畑が広がっている。



（牧之原市白図を背景に使用）

図 1-8 土地利用状況

流域の人口は、牧之原市のうち東沢川流域が位置する旧相良町では、戦後間もない昭和 20 年代には約 30,000 人であったが、昭和 50 年頃には約 25,000 人まで減少した。その後、平成 7 年頃までに約 27,000 人まで増加したが、平成 12 年頃を境に、近年は減少傾向である。

一方、世帯数は年々増加しており、核家族化が進んでいることが伺える。

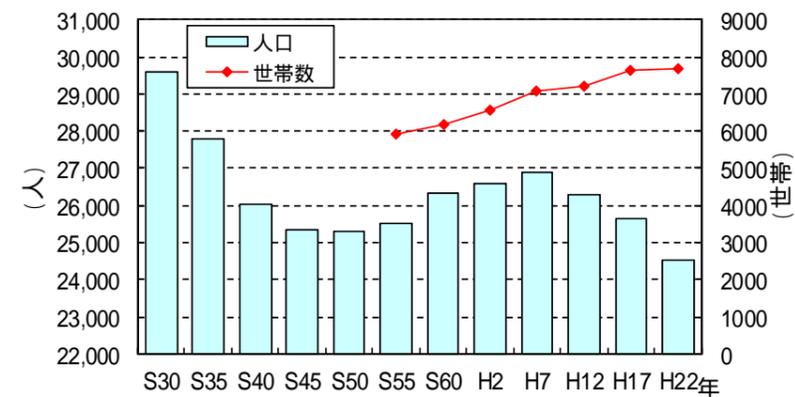


図 1-9 人口と世帯数の推移（出典：国勢調査）

（5）産業・観光

産業について、東沢川流域が位置する旧相良町の産業分類別就業人口の変遷をみると、第1次産業が減少傾向にあり、第2次産業は平成12年まで増加傾向であったが、平成17年は減少に転じている。平成17年時点の第1、2、3次産業の就業人口の比率は17%、39%、44%である。

平成12年までの第2次産業就業者の増加は、農業・漁業からの転業よりも、交通網の整備に伴って進出した工場の就業者の増加に起因するものと考えられる。

第3次産業就業者も、これまでに若干の増加傾向が見られるが、富士山静岡空港の開港に伴う道路交通網の整備により、今後も当該地域への観光客の増加が見込まれ、観光業等の第3次産業就業者が増加するものと予想される。

一方、旧相良町の総農家数・農家人口の推移を見ると、減少傾向が続いており、20年間で約半数にまで減っている。

（5）産業・観光

産業について、東沢川流域が位置する旧相良町の産業分類別就業人口の変遷をみると、第1次産業が減少傾向にあり、第2次産業は平成12年まで増加傾向であったが、平成17年は減少に転じている。平成17年時点の第1、2、3次産業の就業人口の比率は17%、39%、44%である。

平成12年までの第2次産業就業者の増加は、農業・漁業からの転業よりも、交通網の整備に伴って進出した工場の就業者の増加に起因するものと考えられる。

第3次産業就業者も、これまでに若干の増加傾向が見られるが、富士山静岡空港の開港に伴う道路交通網の整備により、今後も当該地域への観光客の増加が見込まれ、観光業等の第3次産業就業者が増加するものと予想される。

一方、旧相良町の総農家数・農家人口の推移を見ると、減少傾向が続いており、20年間で約半数にまで減っている。

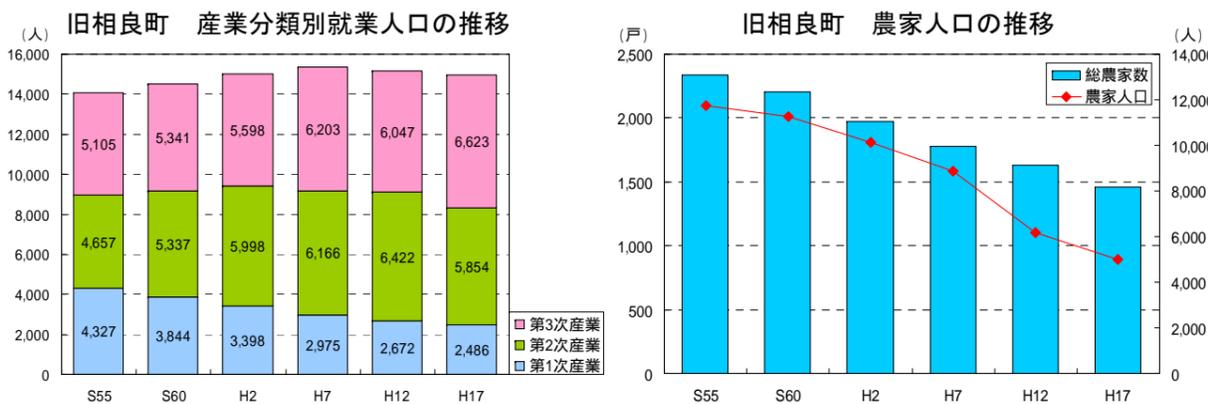


図 1-10 産業別人口の推移（出典：国勢調査）

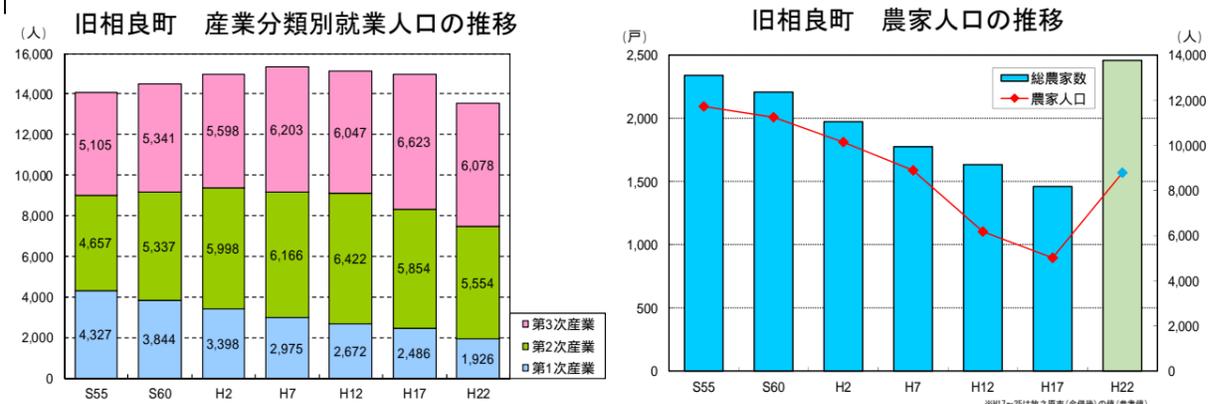


図 1-10 産業別人口の推移（出典：国勢調査）

牧之原市は日本有数のお茶の産地であり、市内には約 2,590ha（平成 17 年現在）の茶園が広がっている。お茶以外の農産物としては、山の斜面ではみかん、平地ではメロン、イチゴ、海岸ではスイカなどの果物栽培が盛んである。

製造品出荷額の推移をみると、ここ 20 年間で大きく増加しているが、これは大規模工場の立地によるところが大きい。

牧之原市は日本有数のお茶の産地であり、市内には約 2,610ha（平成 26 年現在）の茶園が広がっている。お茶以外の農産物としては、山の斜面ではみかん、平地ではメロン、イチゴ、海岸ではスイカなどの果物栽培が盛んである。

製造品出荷額の推移をみると、ここ 20 年間で大きく増加しているが、これは大規模工場の立地によるところが大きい。

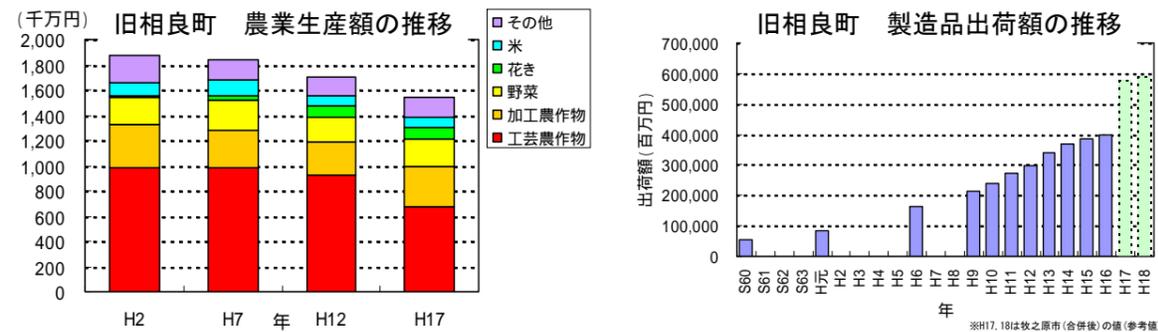


図 1-11 産業生産額の推移

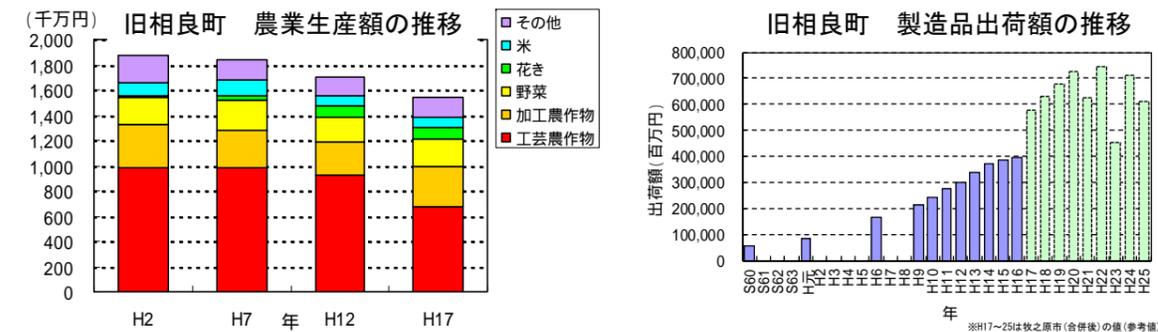


図 1-11 産業生産額の推移

(6) 主要交通

流域を取り巻く交通網は、国道 150 号が海岸線を通り、生活、産業、観光等、幅広く利用されている。また、広域の自転車道として、「大規模自転車道（通称 太平洋岸自転車道）：一般県道静岡御前崎自転車道線」が国道 150 号に併行して海岸線に通っている。

(6) 主要交通

流域を取り巻く交通網は、国道 150 号が海岸線を通り、生活、産業、観光等、幅広く利用されている。また、広域の自転車道として、「大規模自転車道（通称 太平洋岸自転車道）：一般県道静岡御前崎自転車道線」が国道 150 号に併行して海岸線に通っている。

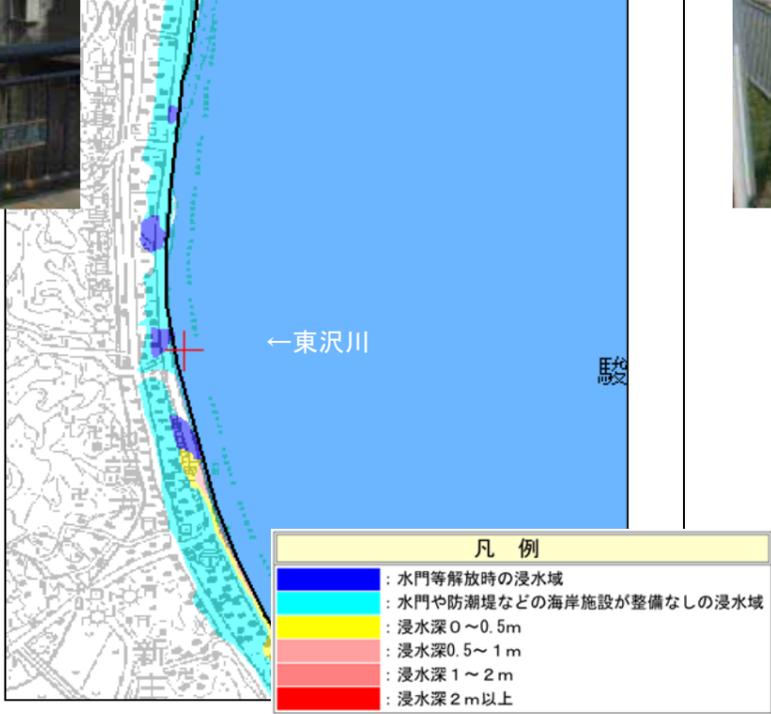
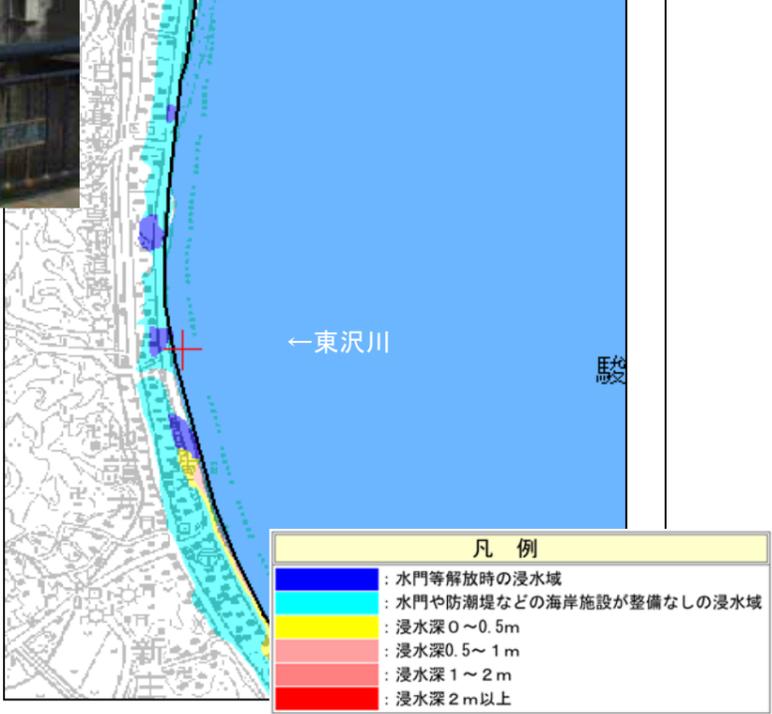


(国土地理院 2 万 5 千分 1 地形図を背景に使用)

(国土地理院 2 万 5 千分 1 地形図を背景に使用)

図 1-12 主要交通網

図 1-12 主要交通網

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>(7) 流域の歴史・文化 牧之原市の文化財には国指定 2 点、県指定 16 点、市指定 42 点があるが、東沢川流域内には存在しない。</p> <p>(8) 治水事業の沿革 近年では、東沢川流域において家屋等の浸水被害を受けた記録は残っていない。現在の河道は、過去の洪水による災害復旧工事や維持修繕工事により整備された。</p> <p>津波被害に関しては、1854 年 12 月（旧暦：安政元年 11 月 4 日）に発生した安政地震により地頭方地区で被害が発生した記録が残っている。現在は、東海地震により想定される津波の遡上を減衰させるため、河口部に防潮壁が設置されている。この防潮壁により、静岡県第三次地震被害想定による津波の河川への遡上、市街地への浸入を軽減し、家屋被害の発生を防ぐ。</p>  <p style="text-align: center;">図 1-13 東沢川の河道状況 （東沢橋 0.02km 付近より上流側）</p>  <p style="text-align: center;">図 1-14 東沢川河口部防潮壁</p>  <p style="text-align: center;">図 1-15 推定津波浸水域 （出典：静岡県 HP「静岡県第三次地震被害想定結果」より）</p>	<p>(7) 流域の歴史・文化 牧之原市の文化財には国指定 2 点、県指定 16 点、市指定 42 点があるが、東沢川流域内には存在しない。</p> <p>(8) 治水事業の沿革 近年では、東沢川流域において家屋等の浸水被害を受けた記録は残っていない。現在の河道は、過去の洪水による災害復旧工事や維持修繕工事により整備された。</p> <p>津波被害に関しては、1854 年 12 月（旧暦：安政元年 11 月 4 日）に発生した安政地震により地頭方地区で被害が発生した記録が残っている。現在は、東海地震により想定される津波の遡上を減衰させるため、河口部に防潮壁が設置されている。この防潮壁により、静岡県第三次地震被害想定による津波の河川への遡上、市街地への浸入を軽減し、家屋被害の発生を防ぐ。</p>  <p style="text-align: center;">図 1-13 東沢川の河道状況 （東沢橋 0.02km 付近より上流側）</p>  <p style="text-align: center;">図 1-14 東沢川河口部防潮壁</p>  <p style="text-align: center;">図 1-15 推定津波浸水域 （出典：静岡県 HP「静岡県第三次地震被害想定結果」より）</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p data-bbox="201 184 388 216">2 河川の概要</p> <p data-bbox="427 226 1368 258">※以下に区間・位置の目安は河口からの距離で示した（付図：流域概要図参照）。</p> <p data-bbox="210 289 804 321">(1) 上流区間（河口から 0.25km 付近より上流区間）</p> <p data-bbox="219 331 813 457">上流区間は、台地部を抜け出た地点より二級河川区間が始まる。河道は掘込となっており、河床縦断勾配は概ね 1/40 程度である。</p> <p data-bbox="219 468 813 678">河道内は砂礫河床となっており、一部には州が形成され、ヨシ・ツルヨシをはじめとする河道内植生がみられる。護岸天端付近や土羽部分にはススキや低木が繁茂している。河道周辺は、右岸側に工場が隣接する。</p>  <p data-bbox="923 695 1279 726">図 1-16 東沢川上流部の状況</p> <p data-bbox="210 741 908 772">(2) 下流区間・河口区間（河口から 0.25km 付近より下流）</p> <p data-bbox="219 783 1389 867">下流区間の河道は掘込河道であり、上流区間よりも広く直線的な平面形状となっている。河床縦断勾配は概ね 1/40 程度である。</p> <p data-bbox="219 877 1389 1045">河道内は砂礫河床となっており、一部には州が形成され、ヨシ・ツルヨシをはじめとする河道内植生がみられる。護岸天端付近にはメダケや中低木が繁茂している。周辺に隣接する家屋や事業所は少ない。河口区間には東海地震により想定される津波の遡上を減衰させるため、河口部に防潮壁が設置されている。防潮壁より下流の河口部は砂丘となる。</p>  <p data-bbox="557 1923 1020 1955">図 1-17 東沢川下流部・河口部の状況</p>	<p data-bbox="1436 184 1623 216">2 河川の概要</p> <p data-bbox="1653 226 2594 258">※以下に区間・位置の目安は河口からの距離で示した（付図：流域概要図参照）。</p> <p data-bbox="1445 289 2039 321">(1) 上流区間（河口から 0.25km 付近より上流区間）</p> <p data-bbox="1454 331 2047 457">上流区間は、台地部を抜け出た地点より二級河川区間が始まる。河道は掘込となっており、河床縦断勾配は概ね 1/40 程度である。</p> <p data-bbox="1454 468 2047 678">河道内は砂礫河床となっており、一部には州が形成され、ヨシ・ツルヨシをはじめとする河道内植生がみられる。護岸天端付近や土羽部分にはススキや低木が繁茂している。河道周辺は、右岸側に工場が隣接する。</p>  <p data-bbox="2151 695 2507 726">図 1-16 東沢川上流部の状況</p> <p data-bbox="1445 741 2142 772">(2) 下流区間・河口区間（河口から 0.25km 付近より下流）</p> <p data-bbox="1454 783 2623 867">下流区間の河道は掘込河道であり、上流区間よりも広く直線的な平面形状となっている。河床縦断勾配は概ね 1/40 程度である。</p> <p data-bbox="1454 877 2623 1045">河道内は砂礫河床となっており、一部には州が形成され、ヨシ・ツルヨシをはじめとする河道内植生がみられる。護岸天端付近にはメダケや中低木が繁茂している。周辺に隣接する家屋や事業所は少ない。河口区間には東海地震により想定される津波の遡上を減衰させるため、河口部に防潮壁が設置されている。防潮壁より下流の河口部は砂丘となる。</p>  <p data-bbox="1792 1923 2255 1955">図 1-17 東沢川下流部・河口部の状況</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>第2 河川の現状と課題</p> <p>1 治水に関する現状と課題</p> <p>東沢川では近年、大きな洪水が発生した記録は残っていない。しかし、急峻な山地を流れ下る河川であり土砂の流出が多いことから、河床勾配が急激に緩くなる河口から 300m までの区間では、土砂の堆積が顕著であり、河道の維持を図ることが必要となっている。</p> <p>また、下流部においては、安政地震等の津波による大きな被害を受けた記録があり、予想される東海地震による暫定的な津波対策として河口部に防潮壁が整備されている。</p> <p>一方、近年、全国的に気候変動の影響とみられる集中豪雨が多発しており、東沢川流域においても目標を上回る洪水の発生等が今後予想される。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="178 913 771 1312"> <p>下流部</p>  </div> <div data-bbox="786 913 1380 1312"> <p>上流部</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">図 2-2 東沢川の河道状況</p>	<p>第2 河川の現状と課題</p> <p>1 治水に関する現状と課題</p> <p>(1) 洪水対策</p> <p>東沢川では近年、大きな洪水が発生した記録は残っていない。しかし、急峻な山地を流れ下る河川であり土砂の流出が多いことから、河床勾配が急激に緩くなる河口から 300m までの区間では、土砂の堆積が顕著であり、河道の維持を図ることが必要となっている。</p> <p>また、下流部においては、安政地震等の津波による大きな被害を受けた記録があり、予想される東海地震による暫定的な津波対策として河口部に防潮壁が整備されている。</p> <p>一方、近年、全国的に気候変動の影響とみられる集中豪雨が多発しており、東沢川流域においても目標を上回る洪水の発生等が今後予想される。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1409 955 2003 1354"> <p>下流部</p>  </div> <div data-bbox="2018 955 2611 1354"> <p>上流部</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">図 2-2 東沢川の河道状況</p> <p>(2) 津波対策</p> <p>東日本大震災を踏まえた静岡県第 4 次地震被害想定（平成 25 年）では、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす「計画津波」※1と、発生頻度は極めて低い、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」※2の二つのレベルの津波が設定されており、東沢川では「計画津波」は河川内を約 0.4km 以上遡上するとともに、「最大クラスの津波」では、河川及び海岸堤防を越流し、沿岸部で最大約 24ha 以上が浸水すると想定されている。</p> <p>このため、東沢川では、海岸における防御と一体となって津波対策施設を整備するとともに、ハード・ソフト対策を総合的に組み合わせた多重防御による津波防災を推進する必要がある。</p> <p>※1 計画津波：静岡県第 4 次地震被害想定で対象としている「レベル 1 の津波」</p> <p>※2 最大クラスの津波：静岡県第 4 次地震被害想定で対象としている「レベル 2 の津波」</p>	

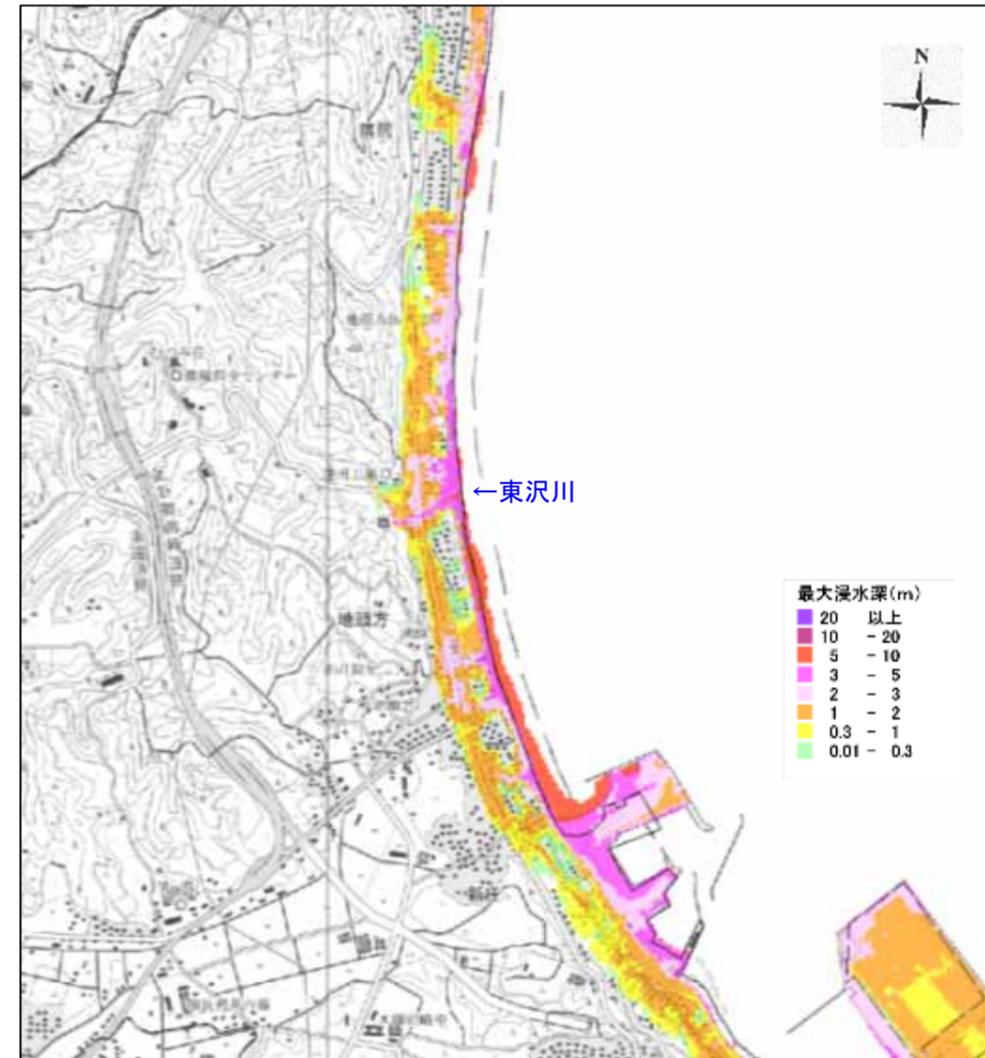


図 2-3 計画津波（レベル 1）による浸水想定区域図【東海・東南海・南海地震モデル】

（出典：静岡県 HP「静岡県第 4 次地震被害想定結果」より）

2 河川の水利用に関する現状と課題

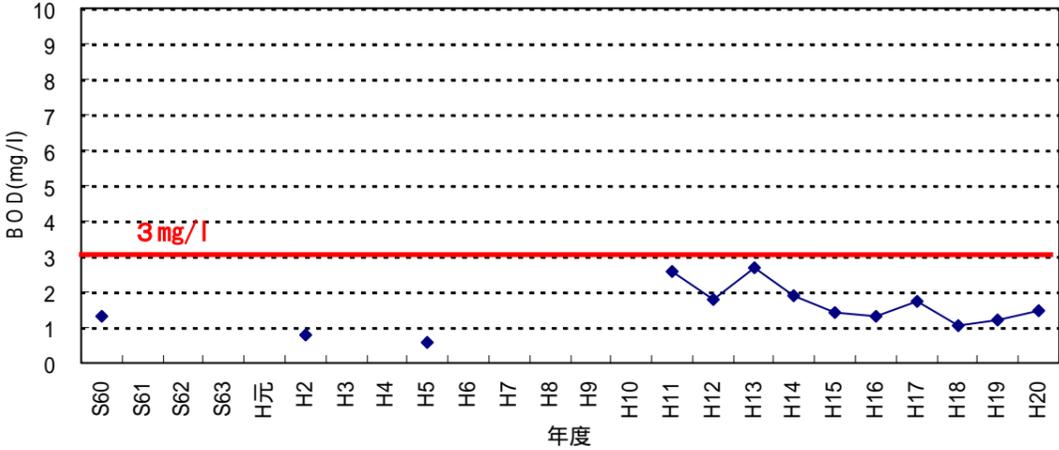
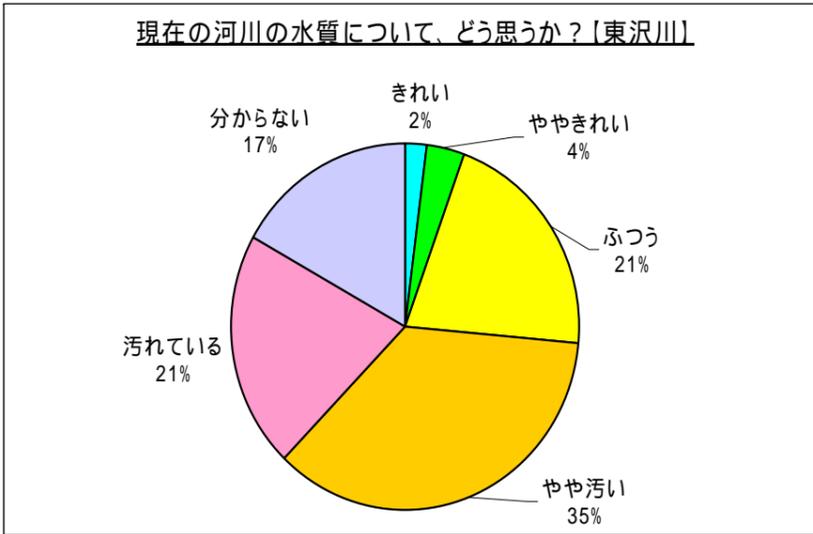
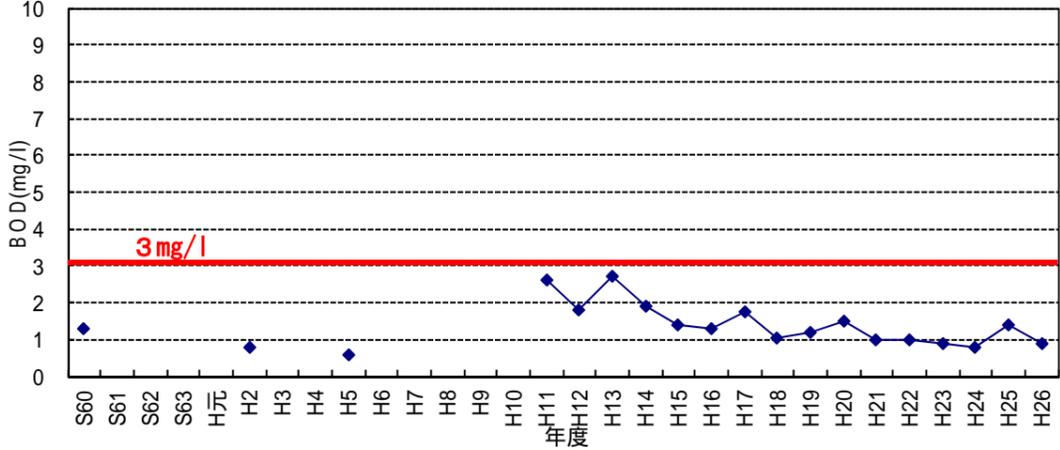
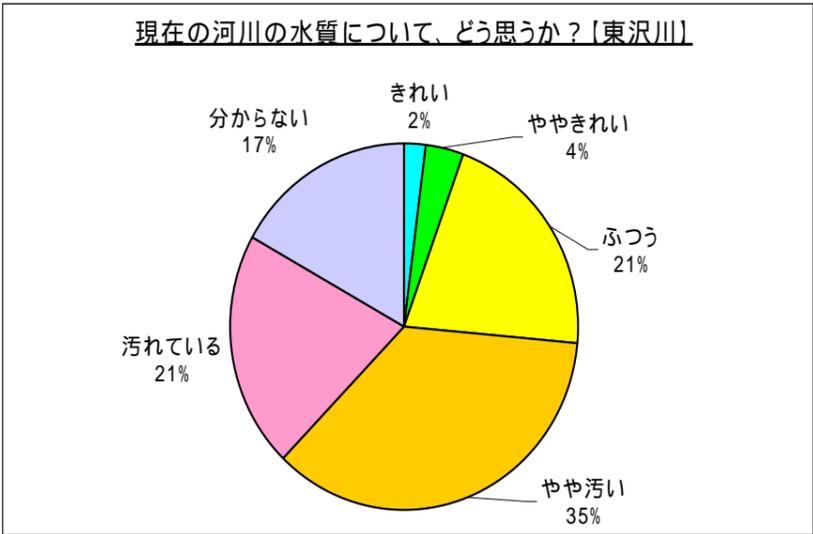
東沢川水系においては、特に河川水の利用は見られない。

また、東沢川水系の流況については、現在、水系内において流量観測が行われていないことから不明であるが、これまでに大きな渇水被害は生じていない。

2 河川の水利用に関する現状と課題

東沢川水系においては、特に河川水の利用は見られない。

また、東沢川水系の流況については、現在、水系内において流量観測が行われていないことから不明であるが、これまでに大きな渇水被害は生じていない。

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>3 河川環境に関する現状と課題</p> <p>(1) 水 質</p> <p>東沢川の水質に関しては、環境基準の類型が指定されていないが、牧之原市による定期的な水質観測結果によると、BOD 値で 1～3mg/l 前後で推移しており、近傍河川と比べて良好である。</p> <p>しかし、住民アンケートの回答では、「汚れている」、「やや汚い」が 50%以上であり、実際の水質と住民の印象にギャップが存在する。</p>  <p>図 2-3 BOD の経年変化（牧之原市環境調査結果）</p>  <p>図 2-4 平成 20 年 2 月に実施した住民アンケート結果</p>	<p>3 河川環境に関する現状と課題</p> <p>(1) 水 質</p> <p>東沢川の水質に関しては、環境基準の類型が指定されていないが、牧之原市による定期的な水質観測結果によると、BOD 値で 1～3mg/l 前後で推移しており、近傍河川と比べて良好である。</p> <p>しかし、住民アンケートの回答では、「汚れている」、「やや汚い」が 50%以上であり、実際の水質と住民の印象にギャップが存在する。</p>  <p>図 2-4 BOD の経年変化（牧之原市環境調査結果）</p>  <p>図 2-5 平成 20 年 2 月に実施した住民アンケート結果</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考														
<p>(2) 動植物の生息・生育状況</p> <p>感潮区間である下流部では、スミウキゴリ、シマヨシノボリ、オイカワ、ウグイ、ボラ等の魚類が確認されている。貴重種に指定されている魚種は確認されていない。また、海と川を行き来するモクズガニが確認されている。上流部ではオイカワが確認されている。</p> <p>鳥類は、キセキレイ、ハクセキレイ、イソシギなどの飛翔が確認されているほか、上流部では、カワセミの飛翔も確認されている。</p> <p>植生は、河岸は全域にわたって護岸整備され、オギ、イヌタデなどの植生がわずかに見られる他、貴重種としてカワヂシャ（環境省準絶滅危惧（NT）※：静岡県中部地域の指定はなし）の生育が確認されている。また、中上流部の山付の区間においては、土砂が堆積した箇所植生が繁茂しており、残された河畔林と合わせり自然豊かな環境を形成している区間もある。</p> <p>※：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種（環境省定義）</p> <div data-bbox="234 787 798 1201"> </div> <p data-bbox="350 1226 649 1257">図 2-5 0k180 河道状況</p> <div data-bbox="813 787 1377 1201"> </div> <p data-bbox="928 1226 1228 1257">図 2-6 0k404 河道状況</p> <div data-bbox="240 1327 798 1749"> </div> <p data-bbox="406 1770 617 1801">図 2-7 オイカワ</p> <div data-bbox="813 1327 1371 1749"> </div> <p data-bbox="946 1770 1210 1801">図 2-8 スミウキゴリ</p>	<p>(2) 動植物の生息・生育状況</p> <p>感潮区間である下流部では、ニホンウナギ（環境省絶滅危惧 I B 類（EN）※¹：静岡県では指定なし）、スミウキゴリ、シマヨシノボリ、オイカワ、ウグイ、ボラ等の魚類が確認されている。また、海と川を行き来するモクズガニが確認されている。上流部ではオイカワが確認されている。</p> <p>鳥類は、キセキレイ、ハクセキレイ、イソシギなどの飛翔が確認されているほか、上流部では、カワセミの飛翔も確認されている。</p> <p>植生は、河岸は全域にわたって護岸整備され、オギ、イヌタデなどの植生がわずかに見られる他、貴重種としてカワヂシャ（環境省準絶滅危惧（NT）※²：静岡県中部地域の指定はなし）の生育が確認されている。また、中上流部の山付の区間においては、土砂が堆積した箇所植生が繁茂しており、残された河畔林と合わせり自然豊かな環境を形成している区間もある。</p> <p>※¹：I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。 ※²：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種（環境省定義）</p> <div data-bbox="1469 831 2033 1245"> </div> <p data-bbox="1584 1270 1884 1302">図 2-6 0k180 河道状況</p> <div data-bbox="2047 831 2611 1245"> </div> <p data-bbox="2163 1270 2463 1302">図 2-7 0k404 河道状況</p> <p data-bbox="1795 1369 2226 1400">表 2-1 東沢川水系における貴重種</p> <table border="1" data-bbox="1448 1407 2579 1604"> <thead> <tr> <th rowspan="2">上位分類群</th> <th rowspan="2">科名</th> <th rowspan="2">和名／学名</th> <th colspan="2">静岡県カテゴリ</th> <th rowspan="2">環境省カテゴリ</th> </tr> <tr> <th>全 県</th> <th>中部地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウナギ目</td> <td>ウナギ</td> <td>ニホンウナギ <i>Anguilla japonica</i></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>絶滅危惧 I B 類</td> </tr> </tbody> </table> <p>※要注目種（N-III）：分布上注目種等、要注目種（N-III）：部会注目種 ※絶滅（EX），野生絶滅（EW），絶滅危惧 I B 類（EN），準絶滅危惧（NT），情報不足（DD），絶滅のおそれのある地域個体群（LP），要注目種（N-I 現状不明）に属する種は確認されていない。 出典：まもりたい静岡県の野生生物—県版レッドデータブック—</p>	上位分類群	科名	和名／学名	静岡県カテゴリ		環境省カテゴリ	全 県	中部地域	ウナギ目	ウナギ	ニホンウナギ <i>Anguilla japonica</i>	—	—	絶滅危惧 I B 類	
上位分類群	科名				和名／学名	静岡県カテゴリ		環境省カテゴリ								
		全 県	中部地域													
ウナギ目	ウナギ	ニホンウナギ <i>Anguilla japonica</i>	—	—	絶滅危惧 I B 類											

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
	<p data-bbox="1484 199 1840 231">ニホンウナギ(絶滅危惧 B類)</p>  <p data-bbox="1484 567 1602 598">オイカワ</p>  <p data-bbox="2062 567 2211 598">スミウキゴリ</p>  <p data-bbox="1825 997 2211 1029">図 2-8 東沢川に生息する魚類</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考																																																																																																																																																												
<p>(3) 河川と地域の関わりに関する現状と課題</p> <p>河川空間は、東沢川の管理道路が生活道路として通勤・通学、ウォーキング・ジョギングに利用される等、地域住民にとって身近な空間となっている。</p> <p>アンケート結果によると、川の水の浄化や河川敷の清掃などの維持管理、ビオトープの整備を望む人が多い。</p> <div data-bbox="415 409 1187 987"> <p>何の目的で川に行くか？【東沢川】</p> <table border="1"> <caption>何の目的で川に行くか？【東沢川】</caption> <tr><th>目的</th><th>割合</th></tr> <tr><td>通勤・通学路</td><td>20%</td></tr> <tr><td>ウォーキング・ジョギング</td><td>18%</td></tr> <tr><td>釣り・魚とり</td><td>9%</td></tr> <tr><td>自然観察・学習</td><td>9%</td></tr> <tr><td>水防活動</td><td>7%</td></tr> <tr><td>祭り、行事</td><td>7%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>7%</td></tr> <tr><td>草刈り</td><td>9%</td></tr> <tr><td>サイクリング</td><td>2%</td></tr> <tr><td>散策・ピクニック</td><td>2%</td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>4%</td></tr> <tr><td>水泳・水遊び</td><td>0%</td></tr> <tr><td>花見</td><td>2%</td></tr> <tr><td>農業用水の管理</td><td>2%</td></tr> <tr><td>ゴミ拾い</td><td>2%</td></tr> <tr><td>キャンプ</td><td>0%</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="400 1029 1202 1774"> <p>今後の川づくりにおいて、特に整備してほしいものは何か？【東沢川】 (人)</p> <table border="1"> <caption>今後の川づくりにおいて、特に整備してほしいものは何か？【東沢川】 (人)</caption> <tr><th>整備してほしいもの</th><th>人数</th></tr> <tr><td>川の水の浄化</td><td>28</td></tr> <tr><td>川の水量を増やす</td><td>15</td></tr> <tr><td>川の水量を減らす</td><td>15</td></tr> <tr><td>美しい風景づくり</td><td>12</td></tr> <tr><td>川に近づく道路の整備</td><td>10</td></tr> <tr><td>ピオトープ(生き物の棲む場所)</td><td>10</td></tr> <tr><td>水防倉庫などの水防施設</td><td>10</td></tr> <tr><td>河川敷の清掃などの維持管理</td><td>10</td></tr> <tr><td>今のままでよい</td><td>5</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5</td></tr> <tr><td>散策に便利な散歩道</td><td>5</td></tr> <tr><td>自然体験(環境学習)ができる場</td><td>5</td></tr> <tr><td>安全に水辺に近づく階段・斜路</td><td>5</td></tr> <tr><td>散策・サイクリングコース</td><td>5</td></tr> <tr><td>釣りが楽しめる場所</td><td>5</td></tr> <tr><td>桜など樹木の植栽</td><td>5</td></tr> <tr><td>行事が楽しめる場所</td><td>5</td></tr> <tr><td>家族で利用できる公園</td><td>5</td></tr> <tr><td>スポーツのできる広場</td><td>5</td></tr> <tr><td>キャンプやバーベキューができる広場</td><td>5</td></tr> <tr><td>トイレやあずまやなどの休憩所</td><td>5</td></tr> </table> </div>	目的	割合	通勤・通学路	20%	ウォーキング・ジョギング	18%	釣り・魚とり	9%	自然観察・学習	9%	水防活動	7%	祭り、行事	7%	その他	7%	草刈り	9%	サイクリング	2%	散策・ピクニック	2%	スポーツ	4%	水泳・水遊び	0%	花見	2%	農業用水の管理	2%	ゴミ拾い	2%	キャンプ	0%	整備してほしいもの	人数	川の水の浄化	28	川の水量を増やす	15	川の水量を減らす	15	美しい風景づくり	12	川に近づく道路の整備	10	ピオトープ(生き物の棲む場所)	10	水防倉庫などの水防施設	10	河川敷の清掃などの維持管理	10	今のままでよい	5	その他	5	散策に便利な散歩道	5	自然体験(環境学習)ができる場	5	安全に水辺に近づく階段・斜路	5	散策・サイクリングコース	5	釣りが楽しめる場所	5	桜など樹木の植栽	5	行事が楽しめる場所	5	家族で利用できる公園	5	スポーツのできる広場	5	キャンプやバーベキューができる広場	5	トイレやあずまやなどの休憩所	5	<p>(3) 河川と地域の関わりに関する現状と課題</p> <p>河川空間は、東沢川の管理道路が生活道路として通勤・通学、ウォーキング・ジョギングに利用される等、地域住民にとって身近な空間となっている。</p> <p>アンケート結果によると、川の水の浄化や河川敷の清掃などの維持管理、ビオトープの整備を望む人が多い。</p> <div data-bbox="1647 409 2418 987"> <p>何の目的で川に行くか？【東沢川】</p> <table border="1"> <caption>何の目的で川に行くか？【東沢川】</caption> <tr><th>目的</th><th>割合</th></tr> <tr><td>通勤・通学路</td><td>20%</td></tr> <tr><td>ウォーキング・ジョギング</td><td>18%</td></tr> <tr><td>釣り・魚とり</td><td>9%</td></tr> <tr><td>自然観察・学習</td><td>9%</td></tr> <tr><td>水防活動</td><td>7%</td></tr> <tr><td>祭り、行事</td><td>7%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>7%</td></tr> <tr><td>草刈り</td><td>9%</td></tr> <tr><td>サイクリング</td><td>2%</td></tr> <tr><td>散策・ピクニック</td><td>2%</td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>4%</td></tr> <tr><td>水泳・水遊び</td><td>0%</td></tr> <tr><td>花見</td><td>2%</td></tr> <tr><td>農業用水の管理</td><td>2%</td></tr> <tr><td>ゴミ拾い</td><td>2%</td></tr> <tr><td>キャンプ</td><td>0%</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="1632 1029 2433 1774"> <p>今後の川づくりにおいて、特に整備してほしいものは何か？【東沢川】 (人)</p> <table border="1"> <caption>今後の川づくりにおいて、特に整備してほしいものは何か？【東沢川】 (人)</caption> <tr><th>整備してほしいもの</th><th>人数</th></tr> <tr><td>川の水の浄化</td><td>28</td></tr> <tr><td>川の水量を増やす</td><td>15</td></tr> <tr><td>川の水量を減らす</td><td>15</td></tr> <tr><td>美しい風景づくり</td><td>12</td></tr> <tr><td>川に近づく道路の整備</td><td>10</td></tr> <tr><td>ピオトープ(生き物の棲む場所)</td><td>10</td></tr> <tr><td>水防倉庫などの水防施設</td><td>10</td></tr> <tr><td>河川敷の清掃などの維持管理</td><td>10</td></tr> <tr><td>今のままでよい</td><td>5</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5</td></tr> <tr><td>散策に便利な散歩道</td><td>5</td></tr> <tr><td>自然体験(環境学習)ができる場</td><td>5</td></tr> <tr><td>安全に水辺に近づく階段・斜路</td><td>5</td></tr> <tr><td>散策・サイクリングコース</td><td>5</td></tr> <tr><td>釣りが楽しめる場所</td><td>5</td></tr> <tr><td>桜など樹木の植栽</td><td>5</td></tr> <tr><td>行事が楽しめる場所</td><td>5</td></tr> <tr><td>家族で利用できる公園</td><td>5</td></tr> <tr><td>スポーツのできる広場</td><td>5</td></tr> <tr><td>キャンプやバーベキューができる広場</td><td>5</td></tr> <tr><td>トイレやあずまやなどの休憩所</td><td>5</td></tr> </table> </div>	目的	割合	通勤・通学路	20%	ウォーキング・ジョギング	18%	釣り・魚とり	9%	自然観察・学習	9%	水防活動	7%	祭り、行事	7%	その他	7%	草刈り	9%	サイクリング	2%	散策・ピクニック	2%	スポーツ	4%	水泳・水遊び	0%	花見	2%	農業用水の管理	2%	ゴミ拾い	2%	キャンプ	0%	整備してほしいもの	人数	川の水の浄化	28	川の水量を増やす	15	川の水量を減らす	15	美しい風景づくり	12	川に近づく道路の整備	10	ピオトープ(生き物の棲む場所)	10	水防倉庫などの水防施設	10	河川敷の清掃などの維持管理	10	今のままでよい	5	その他	5	散策に便利な散歩道	5	自然体験(環境学習)ができる場	5	安全に水辺に近づく階段・斜路	5	散策・サイクリングコース	5	釣りが楽しめる場所	5	桜など樹木の植栽	5	行事が楽しめる場所	5	家族で利用できる公園	5	スポーツのできる広場	5	キャンプやバーベキューができる広場	5	トイレやあずまやなどの休憩所	5	
目的	割合																																																																																																																																																													
通勤・通学路	20%																																																																																																																																																													
ウォーキング・ジョギング	18%																																																																																																																																																													
釣り・魚とり	9%																																																																																																																																																													
自然観察・学習	9%																																																																																																																																																													
水防活動	7%																																																																																																																																																													
祭り、行事	7%																																																																																																																																																													
その他	7%																																																																																																																																																													
草刈り	9%																																																																																																																																																													
サイクリング	2%																																																																																																																																																													
散策・ピクニック	2%																																																																																																																																																													
スポーツ	4%																																																																																																																																																													
水泳・水遊び	0%																																																																																																																																																													
花見	2%																																																																																																																																																													
農業用水の管理	2%																																																																																																																																																													
ゴミ拾い	2%																																																																																																																																																													
キャンプ	0%																																																																																																																																																													
整備してほしいもの	人数																																																																																																																																																													
川の水の浄化	28																																																																																																																																																													
川の水量を増やす	15																																																																																																																																																													
川の水量を減らす	15																																																																																																																																																													
美しい風景づくり	12																																																																																																																																																													
川に近づく道路の整備	10																																																																																																																																																													
ピオトープ(生き物の棲む場所)	10																																																																																																																																																													
水防倉庫などの水防施設	10																																																																																																																																																													
河川敷の清掃などの維持管理	10																																																																																																																																																													
今のままでよい	5																																																																																																																																																													
その他	5																																																																																																																																																													
散策に便利な散歩道	5																																																																																																																																																													
自然体験(環境学習)ができる場	5																																																																																																																																																													
安全に水辺に近づく階段・斜路	5																																																																																																																																																													
散策・サイクリングコース	5																																																																																																																																																													
釣りが楽しめる場所	5																																																																																																																																																													
桜など樹木の植栽	5																																																																																																																																																													
行事が楽しめる場所	5																																																																																																																																																													
家族で利用できる公園	5																																																																																																																																																													
スポーツのできる広場	5																																																																																																																																																													
キャンプやバーベキューができる広場	5																																																																																																																																																													
トイレやあずまやなどの休憩所	5																																																																																																																																																													
目的	割合																																																																																																																																																													
通勤・通学路	20%																																																																																																																																																													
ウォーキング・ジョギング	18%																																																																																																																																																													
釣り・魚とり	9%																																																																																																																																																													
自然観察・学習	9%																																																																																																																																																													
水防活動	7%																																																																																																																																																													
祭り、行事	7%																																																																																																																																																													
その他	7%																																																																																																																																																													
草刈り	9%																																																																																																																																																													
サイクリング	2%																																																																																																																																																													
散策・ピクニック	2%																																																																																																																																																													
スポーツ	4%																																																																																																																																																													
水泳・水遊び	0%																																																																																																																																																													
花見	2%																																																																																																																																																													
農業用水の管理	2%																																																																																																																																																													
ゴミ拾い	2%																																																																																																																																																													
キャンプ	0%																																																																																																																																																													
整備してほしいもの	人数																																																																																																																																																													
川の水の浄化	28																																																																																																																																																													
川の水量を増やす	15																																																																																																																																																													
川の水量を減らす	15																																																																																																																																																													
美しい風景づくり	12																																																																																																																																																													
川に近づく道路の整備	10																																																																																																																																																													
ピオトープ(生き物の棲む場所)	10																																																																																																																																																													
水防倉庫などの水防施設	10																																																																																																																																																													
河川敷の清掃などの維持管理	10																																																																																																																																																													
今のままでよい	5																																																																																																																																																													
その他	5																																																																																																																																																													
散策に便利な散歩道	5																																																																																																																																																													
自然体験(環境学習)ができる場	5																																																																																																																																																													
安全に水辺に近づく階段・斜路	5																																																																																																																																																													
散策・サイクリングコース	5																																																																																																																																																													
釣りが楽しめる場所	5																																																																																																																																																													
桜など樹木の植栽	5																																																																																																																																																													
行事が楽しめる場所	5																																																																																																																																																													
家族で利用できる公園	5																																																																																																																																																													
スポーツのできる広場	5																																																																																																																																																													
キャンプやバーベキューができる広場	5																																																																																																																																																													
トイレやあずまやなどの休憩所	5																																																																																																																																																													

図 2-9 平成 20 年 2 月に実施した住民アンケート結果

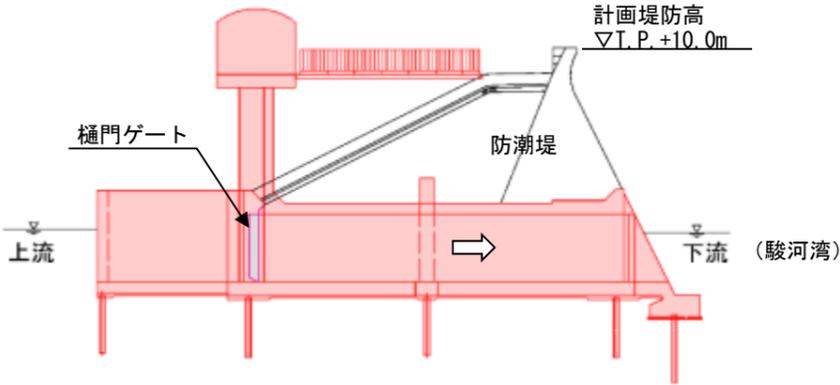
図 2-9 平成 20 年 2 月に実施した住民アンケート結果

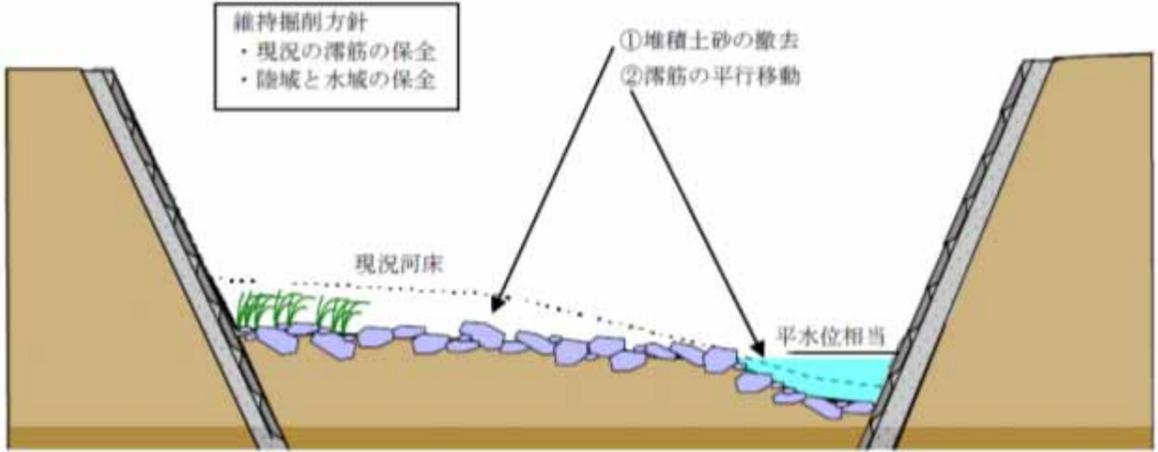
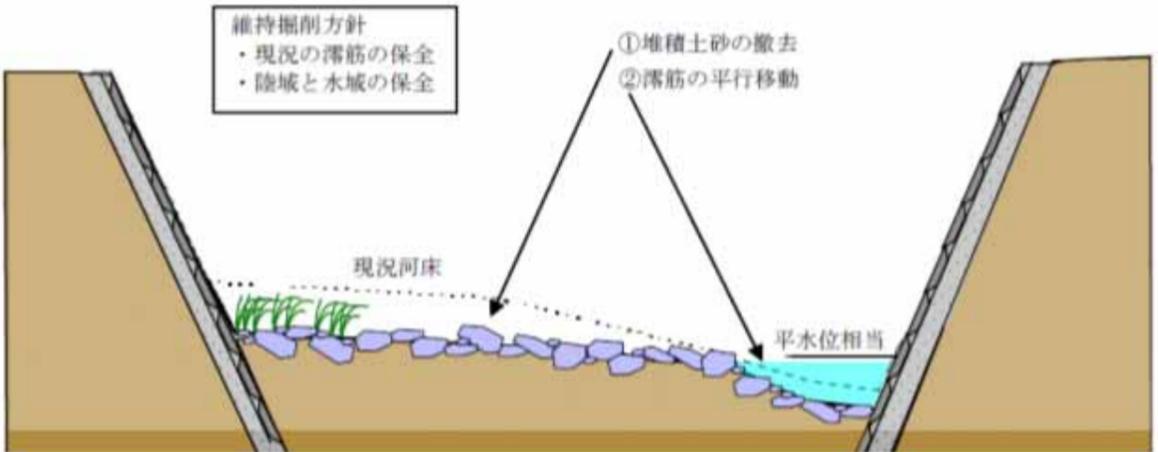
東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>第3 河川整備計画の目標に関する事項</p> <p>1 河川整備の基本理念と基本方針</p> <p>牧之原台地に源を発し市街地を貫流している東沢川は、地域の身近な水辺空間となっており、地域住民を水害から守る社会基盤として重要な役割を担っている。</p> <p>また、中上流部には河畔林が残されており、カワセミの飛翔が確認されるなど、良好な自然環境が残されているほか、河口部には、ボラ、モクズガニが見られるなど、海と川を行き来する生物の生息環境がある。</p> <p>一方、近年は浸水被害を受けていないが、下流域に人家が立地していることから、一定規模以上の降雨の際には、大きな被害が発生することが懸念される。また、東海地震による津波の被害も心配されている。</p> <p>こうしたことから、東沢川では河川整備計画の基本理念及び重点項目を下記のとおりとする。</p> <div data-bbox="225 779 1329 1129" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【基本理念】</p> <p>流域や河川において形成されている豊かな自然環境や地域の暮らしや歴史・文化との調和を図りつつ、流域の土地利用の動向も視野に入れた治水対策を推進し、流域と一体となった総合的な河川整備を目指す。</p> <p>なお、津波対策など流域に残されている諸課題を解決するためには、流域住民の理解と協力が不可欠であることから、地域住民や関係機関と連携した河川整備を推進する。</p> </div> <p>◆<u>水害に強い川づくり</u></p> <p>治水施設の整備を着実に進めるとともに、土地利用の適正化など流域における対策や洪水ハザードマップの整備などのソフト対策を講じるなど、流域が一体となった治水対策を推進し、流域住民が安心して暮らせる「水害に強い川づくり」を目指す。</p> <p>◆<u>人と自然が共生する川づくり</u></p> <p>自然環境、社会環境の特徴を踏まえ、現況で見られる良好な自然環境をできるかぎり保全するとともに、人と自然環境のふれあいの場を創出し、「人と自然が共生する川づくり」を目指す。</p> <p style="text-align: right;">「東沢川水系 河川整備基本方針」より抜粋</p>	<p>第3 河川整備計画の目標に関する事項</p> <p>1 河川整備の基本理念と基本方針</p> <p>牧之原台地に源を発し市街地を貫流している東沢川は、地域の身近な水辺空間となっており、地域住民を水害から守る社会基盤として重要な役割を担っている。</p> <p>また、中上流部には河畔林が残されており、カワセミの飛翔が確認されるなど、良好な自然環境が残されているほか、河口部には、ボラ、モクズガニが見られるなど、海と川を行き来する生物の生息環境がある。</p> <p>一方、近年は浸水被害を受けていないが、下流域に人家が立地していることから、一定規模以上の降雨の際には、大きな被害が発生することが懸念される。また、東日本大震災を踏まえた大規模地震による津波に対する安全性の確保などの課題を有している。</p> <p>こうしたことから、東沢川では河川整備計画の基本理念及び重点項目を下記のとおりとする。</p> <div data-bbox="1463 779 2567 1129" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【基本理念】</p> <p>流域や河川において形成されている豊かな自然環境や地域の暮らしや歴史・文化との調和を図りつつ、流域の土地利用の動向も視野に入れた治水対策を推進し、流域と一体となった総合的な河川整備を目指す。</p> <p>なお、津波対策など流域に残されている諸課題を解決するためには、流域住民の理解と協力が不可欠であることから、地域住民や関係機関と連携した河川整備を推進する。</p> </div> <p>◆<u>水害に強い川づくり</u></p> <p>治水施設の整備を着実に進めるとともに、土地利用の適正化など流域における対策や洪水ハザードマップの整備などのソフト対策を講じるなど、流域が一体となった治水対策を推進し、流域住民が安心して暮らせる「水害に強い川づくり」を目指す。</p> <p>また、大規模地震による津波に対しては、施設整備はもとより、ハード・ソフト対策を総合的に組み合わせた多重防御による津波防災を推進する。</p> <p>◆<u>人と自然が共生する川づくり</u></p> <p>自然環境、社会環境の特徴を踏まえ、現況で見られる良好な自然環境をできるかぎり保全するとともに、人と自然環境のふれあいの場を創出し、「人と自然が共生する川づくり」を目指す。</p> <p style="text-align: right;">「東沢川水系 河川整備基本方針」より抜粋</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考																				
<p>2 計画対象区間 本河川整備計画の対象区間は、以下に示す東沢川流域の県管理区間とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 県管理区間</p> <table border="1" data-bbox="216 367 1344 533"> <thead> <tr> <th rowspan="2">水系名</th> <th rowspan="2">河川名</th> <th colspan="2">区 間</th> </tr> <tr> <th>起 点</th> <th>終 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東沢川</td> <td>東沢川</td> <td>牧之原市相良町地頭方字長木 1273 番の 1 地先町道東沢橋</td> <td>海に至る</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（資料：静岡県河川指定調書）</p> <p>3 計画対象期間 本河川整備計画の対象期間は、概ね 20 年間とする。 なお、本計画は、現時点における流域の社会経済の状況、自然環境の状況、河道状況等を前提として策定したものであり、策定後の流域を取り巻く社会環境の変化や大規模な災害が発生した場合、計画対象期間内であっても必要に応じて見直しを行う。</p> <p>4 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標 災害の発生防止または軽減に関しては、近年、家屋等の浸水被害は発生しておらず、現況流下能力は、全区間で河川整備基本方針の計画規模である 30 年確率流量を超える流下能力を有していることから、30 年確率規模の降雨（時間雨量 65.7mm）を河道内で安全に流下させる能力を維持し、今後は土砂堆積による流下能力の低下等を防ぐため、土砂浚渫等の適正な維持管理に努める。</p> <p>さらに、整備目標を上回る洪水が発生した場合や整備途中段階で施設能力を上回る洪水が発生した場合また、下流部においては想定を上回る津波や高潮が発生した場合においても、できる限り被害が軽減されるよう総合的な被害軽減策について、地域住民、県・市の関係部局と連携を強化し、地域防災力の向上に努める。</p>	水系名	河川名	区 間		起 点	終 点	東沢川	東沢川	牧之原市相良町地頭方字長木 1273 番の 1 地先町道東沢橋	海に至る	<p>2 計画対象区間 本河川整備計画の対象区間は、以下に示す東沢川流域の県管理区間とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 県管理区間</p> <table border="1" data-bbox="1451 367 2579 533"> <thead> <tr> <th rowspan="2">水系名</th> <th rowspan="2">河川名</th> <th colspan="2">区 間</th> </tr> <tr> <th>起 点</th> <th>終 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東沢川</td> <td>東沢川</td> <td>牧之原市相良町地頭方字長木 1273 番の 1 地先町道東沢橋</td> <td>海に至る</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（資料：静岡県河川指定調書）</p> <p>3 計画対象期間 本河川整備計画の対象期間は、概ね 20 年間とする。 なお、本計画は、現時点における流域の社会経済の状況、自然環境の状況、河道状況等を前提として策定したものであり、策定後の流域を取り巻く社会環境の変化や大規模な災害が発生した場合、計画対象期間内であっても必要に応じて見直しを行う。</p> <p>4 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標 災害の発生防止または軽減に関しては、近年、家屋等の浸水被害は発生しておらず、現況流下能力は、全区間で河川整備基本方針の計画規模である年超過確率 1/30 規模の流量を超える流下能力を有していることから、年超過確率 1/30 規模の降雨（時間雨量 65.7mm）を河道内で安全に流下させる能力を維持し、今後は土砂堆積による流下能力の低下等を防ぐため、土砂浚渫等の適正な維持管理に努める。</p> <p style="color: red;">その際、多様な動植物が生息・生育・繁殖できる良好な河川環境の保全・創出に配慮する。</p> <p style="color: red;">河川津波対策に関しては、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす「計画津波」に対しては、人命や財産を守るため、海岸等における防御と一体となって、河川堤防等の施設高を確保することとし、そのために必要となる堤防等の嵩上げ、耐震・液状化対策を実施することにより津波災害を防御するものとする。</p> <p style="color: red;">発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」に対しては、施設対応を超過する事象として、住民等の生命を守ることを最優先とし、地域特性を踏まえ、関係自治体との連携により、土地利用、避難施設、防災施設などを組み合わせた津波防災地域づくり等と一体となって減災を目指すとともに、「計画津波」対策の実施に当たっては、必要に応じて堤防の天端、裏法面、裏小段及び裏法尻に被覆等の措置を講じるものとする。</p> <p>さらに、整備目標を上回る洪水が発生した場合や整備途中段階で施設能力を上回る洪水が発生した場合また、下流部においては想定を上回る津波や高潮が発生した場合においても、できる限り被害が軽減されるよう、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減策について、地域住民、県・市の関係部局や関係機関等と連携を強化し、地域防災力の向上に努める。</p>	水系名	河川名	区 間		起 点	終 点	東沢川	東沢川	牧之原市相良町地頭方字長木 1273 番の 1 地先町道東沢橋	海に至る	
水系名			河川名	区 間																		
	起 点	終 点																				
東沢川	東沢川	牧之原市相良町地頭方字長木 1273 番の 1 地先町道東沢橋	海に至る																			
水系名	河川名	区 間																				
		起 点	終 点																			
東沢川	東沢川	牧之原市相良町地頭方字長木 1273 番の 1 地先町道東沢橋	海に至る																			

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>5 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標</p> <p>河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、今後、河川の流況等の把握に努め、動植物の生息・生育・繁殖環境、景観などに配慮しつつ、適正な水利用が行われ、現況の流水の機能が維持されるよう、地域住民や関係機関と連携を図る。</p> <p>また、河川に関わる農地や森林の多面的機能の保全についても関係機関等と連携した取り組みを促進して、健全な水循環系の構築を目指す。</p> <p>さらに、東沢川は通勤・通学、ウォーキング・ジョギングに利用される等、地域住民にとって身近な空間となっている。このため、河川の空間利用に関しては、流域の各々の場所において、河川はさまざまな多面的な機能が求められていることを十分に認識し、望ましい状態で維持されるように努め、良好な風景をなす魅力的な河川環境の形成を目指す。</p> <p>6 河川環境の整備と保全に関する目標</p> <p>河川環境の整備と保全に関しては、住民や有識者との連携によって自然環境、地域特性、景観、水辺空間等の様々な視点から治水・利水面との調和を図り実施する必要がある。</p> <p>河川の水質については、汚濁負荷量のさらなる削減に向けて、地域住民や牧之原市と連携し流域が一体となった水質改善を働きかけ、多様な動植物が生息・生育し、人々が水とふれあえる豊かで清らかな水環境の保全・創出に努める。</p> <p>東沢川水系では、貴重種はカワヂシャが確認されている以外、確認されていないが、ウグイやボラ、回遊性のハゼ類など、海とのつながりが深い生物が生息していることを踏まえ、東沢川水系に本来生息・生育している動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生に努める。このため、川が有する自然の営力を活用して河川本来の水辺環境の保全を図る。</p> <p>7 河川と地域との関わりに関する目標</p> <p>東沢川は、管理道路が生活道路として用いられるなど地域住民にとって身近な空間となっている。また、河畔林と合わせり自然豊かな環境を形成している区間もある。</p> <p>流域の人々が身近な河川空間に一層の関心を寄せ、ますます地域から愛される川となるためには、生活の場としての河川と人との関わりや河川景観を川づくりにおける重要な要素として認識していくことが必要である。</p> <p>このため、牧之原市のまちづくりとの密接な連携や調整を図るとともに、地域住民をはじめとする東沢川流域に関わる人との協働を推進して、河川の整備を通して地域の共有財産である東沢川が良好な状況で次世代に引き継ぐことにより個性ある地域づくりに寄与するよう努め、「人と自然が共生する川づくり」を目指す。</p>	<p>5 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標</p> <p>河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、今後、河川の流況等の把握に努め、動植物の生息・生育・繁殖環境、景観などに配慮しつつ、適正な水利用が行われ、現況の流水の機能が維持されるよう、地域住民や関係機関と連携を図る。</p> <p>また、河川に関わる農地や森林の多面的機能の保全についても関係機関等と連携した取り組みを促進して、健全な水循環系の構築を目指す。</p> <p>さらに、東沢川は通勤・通学、ウォーキング・ジョギングに利用される等、地域住民にとって身近な空間となっている。このため、河川の空間利用に関しては、流域の各々の場所において、河川はさまざまな多面的な機能が求められていることを十分に認識し、望ましい状態で維持されるように努め、良好な風景をなす魅力的な河川環境の形成を目指す。</p> <p>6 河川環境の整備と保全に関する目標</p> <p>河川環境の整備と保全に関しては、住民や有識者との連携によって自然環境、地域特性、景観、水辺空間等の様々な視点から治水・利水面との調和を図り実施する必要がある。</p> <p>河川の水質については、汚濁負荷量のさらなる削減に向けて、地域住民や牧之原市と連携し流域が一体となった水質改善を働きかけ、多様な動植物が生息・生育・繁殖し、人々が水とふれあえる豊かで清らかな水環境の保全・創出に努める。</p> <p>東沢川水系では、貴重種はニホンウナギとカワヂシャが確認されている以外、確認されていないが、ウグイやボラ、回遊性のハゼ類など、海とのつながりが深い生物が生息していることを踏まえ、東沢川水系に本来生息・生育・繁殖している動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生に努める。このため、川が有する自然の営力を活用して河川本来の多様な動植物が生息・生育・繁殖している水辺環境の保全を図る。</p> <p>また、外来種については、関係機関と連携して移入回避や必要に応じて駆除等にも努める。</p> <p>7 河川と地域との関わりに関する目標</p> <p>東沢川は、管理道路が生活道路として用いられるなど地域住民にとって身近な空間となっている。また、河畔林と合わせり自然豊かな環境を形成している区間もある。</p> <p>流域の人々が身近な河川空間に一層の関心を寄せ、ますます地域から愛される川となるためには、生活の場としての河川と人との関わりや河川景観を川づくりにおける重要な要素として認識していくことが必要である。</p> <p>このため、牧之原市のまちづくりとの密接な連携や調整を図るとともに、地域住民をはじめとする東沢川流域に関わる人との協働を推進して、河川の整備を通して地域の共有財産である東沢川が良好な状況で次世代に引き継ぐことにより個性ある地域づくりに寄与するよう努め、「人と自然が共生する川づくり」を目指す。</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考										
<p>第4 河川整備の実施に関する事項</p> <p>1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能の概要</p> <p>洪水対策の目標である 30 年確率規模の降雨（時間雨量 65.7mm）による洪水に対して安全が確保されていることから、現況の河川施設を最大限に活用し、現況河道を維持するよう努めるとともに、今後の河川および流域を取り巻く社会環境の変化などに合わせて適宜見直しを行っていくものとする。</p> <p>なお、河道に隣接した民地等への溢水の恐れが生じた場合には必要に応じた局所的な対策を図る。</p>	<p>第4 河川整備の実施に関する事項</p> <p>1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能の概要</p> <p>（1）河川工事の目的</p> <p>洪水対策の目標である年超過確率 1/30 規模の降雨（時間雨量 65.7mm）による洪水に対して安全が確保されていることから、現況の河川施設を最大限に活用し、現況河道を維持するよう努めるとともに、今後の河川および流域を取り巻く社会環境の変化などに合わせて適宜見直しを行っていくものとする。</p> <p>なお、河道に隣接した民地等への溢水の恐れが生じた場合には必要に応じた局所的な対策を図る。</p> <p>河口部においては、洪水に加えて大規模地震・津波からの被害の防止又は軽減を図るため、「計画津波」に対して必要となる整備を実施する。</p> <p>（2）河川工事の施行場所</p> <p>東沢川水系の河川整備計画の主要な整備箇所は、河川工事の目的を達成できるよう、また、河川整備の進捗等を考慮し、以下に示すとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 河川整備計画の主要な整備箇所</p> <table border="1" data-bbox="1448 953 2585 1144"> <thead> <tr> <th>河川名</th> <th>工 種</th> <th>目 的</th> <th>区間または地点</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東沢川</td> <td>津波対策樋門</td> <td>津波対策</td> <td>河口</td> <td>樋門設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>（3）主要工事の概要</p> <p>ア 設置箇所</p> <p>樋門設置箇所は、海岸堤防と一体的に整備するため、下図に示す河口 0.0km 付近とする。</p> <div data-bbox="1656 1339 2487 1911" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">図 4-1 津波対策樋門の設置箇所</p>	河川名	工 種	目 的	区間または地点	整備内容	東沢川	津波対策樋門	津波対策	河口	樋門設置	
河川名	工 種	目 的	区間または地点	整備内容								
東沢川	津波対策樋門	津波対策	河口	樋門設置								

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
	<p data-bbox="1486 142 1673 174">イ 工事の内容</p> <p data-bbox="1510 191 2407 222">河口部において、「計画津波」の遡上高を考慮し、津波対策樋門を新設する。</p>  <p data-bbox="1715 684 2297 716">図 4-2 津波対策（樋門新設）イメージ図（参考）</p> <p data-bbox="1486 774 2620 852">なお、工事の実施にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出に配慮するとともに、地域の意見を反映した景観形成を図りながら進める。</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所</p> <p>(1) 河川の維持の目的</p> <p>河川の維持管理に関しては、災害発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から、治水機能の確保のほか、河川の持つ多面的機能が十分に発揮できるように、牧之原市や地域住民、学識経験者等と連携を図りながら、河川パトロール等の適切な維持管理に努める。</p> <p>(2) 河川の維持の種類</p> <p>ア 堤防及び護岸等の維持管理</p> <p>堤防や護岸等の河川管理施設を維持するため、定期的または出水後及び地震発生後の巡視により、堤防斜面の崩れ、亀裂等の機能低下や、河床の深掘れ、土砂の異常堆積、河道内植生の繁茂状況等について現地を確認し、異常が認められた場合には迅速かつ適切な対策、復旧に努める。</p> <p>イ 河道内堆積土砂及び植生等の維持管理</p> <p>洪水時の土砂流出など、河道内に著しく堆積した土砂などの緊急的な排除については、迅速かつ適切に対応する。</p> <p>また、治水上の支障となる堆積土砂の排除や河道内植物の除去にあたっては、地域住民や学識者などとの連携により、動植物の生息空間の多様性と連続性に配慮し、瀬や淵、河床の浮き石など動植物の生育・生息・繁殖環境の保全及び復元に努める。</p> <p>河川における草刈り等については、リバーフレンドシップ制度を活用し、流域各所で住民により実施されている清掃・除草活動などの河川美化活動の支援を推進する。</p>  <p>図 4-1 維持掘削のイメージ（横断面図）</p>	<p>2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所</p> <p>(1) 河川の維持の目的</p> <p>河川の維持管理に関しては、災害発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から、治水機能の確保のほか、河川の持つ多面的機能が十分に発揮できるように、牧之原市や地域住民、学識経験者等と連携を図りながら、河川パトロール等の適切な維持管理に努める。</p> <p>(2) 河川の維持の種類</p> <p>ア 堤防及び護岸等の維持管理</p> <p>堤防や護岸等の河川管理施設を維持するため、定期的または出水後及び地震発生後の巡視により、堤防斜面の崩れ、亀裂等の機能低下や、河床の深掘れ、土砂の異常堆積、河道内植生の繁茂状況等について現地を確認し、異常が認められた場合には迅速かつ適切な対策、復旧に努める。</p> <p style="color: red;">維持修繕、機能改善等を計画的に行うことにより、常に良好な状態を保持するよう努める。</p> <p>イ 河道内堆積土砂及び植生等の維持管理</p> <p>洪水時の土砂流出など、河道内に著しく堆積した土砂などの緊急的な排除については、迅速かつ適切に対応する。</p> <p>また、治水上の支障となる堆積土砂の排除や河道内植物の除去にあたっては、地域住民や学識者などとの連携により、動植物の生息空間の多様性と連続性に配慮し、瀬や淵、河床の浮き石など動植物の生育・生息・繁殖環境の保全及び復元に努める。</p> <p>河川における草刈り等については、リバーフレンドシップ制度を活用し、流域各所で住民により実施されている清掃・除草活動などの河川美化活動の支援を推進する。</p>  <p>図 4-3 維持掘削のイメージ（横断面図）</p>	

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>ウ 水門等河川工作物の維持管理</p> <p>東沢川河口部の防潮壁などの河川管理施設については、津波などの有事の際、各施設の機能が十分に発揮されるよう、平常時からの定期的な点検を実施し、必要に応じて適切な維持補修を実施する。また、道路兼用護岸などの河川占用施設や橋梁等の許可工作物についても、平常時からの定期的な点検の実施を施設管理者に促し、河川管理上の支障が認められる場合は、各施設の許可基準に基づいて適正な維持管理を求めるものとする。</p> <p>エ 水量・水質の監視等</p> <p>水質については、一層の改善に向け、牧之原市における合併処理浄化槽^{がっぺいしよりじょうかそう}への切り替えを促すとともに、地域住民における家庭レベルで実行可能な環境負荷軽減策の普及、ゴミの不法投棄の防止に向け、関係機関に対する啓発活動を働きかけていく。また、油の流出等の水質事故が発生した場合には、関係機関と連携を図り適切な措置を講じること等により、河川の適正な水利用と流水の正常な機能の維持に努める。</p> <p>水量については、健全な水循環機能の保持などを目的として、治水、利水、環境の調和した適正な河川利用を図る。</p> <p>オ 河川環境の整備と保全</p> <p>流域の河川環境は、山地部、平地部、河口部を含む低平地部のそれぞれの地形や土地及び河川特性に依存することが多い。このため、この自然環境を、地域住民、行政が東沢川らしさとして共通の認識をもち、まちづくりにおける快適環境の軸として捉えられるよう、地域住民、学識者などと連携・協議しながら、各地形の特性に応じた河川環境を保全し、河川の上下流及び周辺との連続性に配慮する。</p> <p>また、在来種への影響が懸念される特定外来生物については、関係機関や学識者と連携し、外来生物被害予防 3 原則（入れない・捨てない・拡げない）の普及に努める。</p>	<p>ウ 水門等河川工作物の維持管理</p> <p>東沢川河口部の防潮壁などの河川管理施設については、津波などの有事の際、各施設の機能が十分に発揮されるよう、平常時からの定期的な点検を実施し、必要に応じて適切な維持補修を実施する。また、道路兼用護岸などの河川占用施設や橋梁等の許可工作物についても、平常時からの定期的な点検の実施を施設管理者に促し、河川管理上の支障が認められる場合は、各施設の許可基準に基づいて適正な維持管理を求めるものとする。</p> <p>エ 水量・水質の監視等</p> <p>水質については、一層の改善に向け、牧之原市における合併処理浄化槽^{がっぺいしよりじょうかそう}への切り替えを促すとともに、地域住民における家庭レベルで実行可能な環境負荷軽減策の普及、ゴミの不法投棄の防止に向け、関係機関に対する啓発活動を働きかけていく。また、油の流出等の水質事故が発生した場合には、関係機関と連携を図り適切な措置を講じること等により、河川の適正な水利用と流水の正常な機能の維持に努める。</p> <p>水量については、健全な水循環機能の保持などを目的として、治水、利水、環境の調和した適正な河川利用を図る。</p> <p>オ 河川環境の整備と保全</p> <p>流域の河川環境は、山地部、平地部、河口部を含む低平地部のそれぞれの地形や土地及び河川特性に依存することが多い。このため、この自然環境を、地域住民、行政が東沢川らしさとして共通の認識をもち、まちづくりにおける快適環境の軸として捉えられるよう、地域住民、学識者などと連携・協議しながら、各地形の特性に応じた河川環境を保全し、河川の上下流及び周辺との連続性に配慮する。</p> <p>また、在来種への影響が懸念される特定外来生物については、関係機関や学識者と連携し、外来生物被害予防 3 原則（入れない・捨てない・拡げない）の普及に努める。</p>	

3 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項

(1) 総合的な被害軽減対策

東沢川流域において、整備目標を上回る洪水が発生した場合において、また、想定を上回る津波や高潮が発生した場合においても、生命の安全の確保と被害の最小化が図られるよう、ハザードマップの作成・公表、洪水や津波等の災害発生を想定した避難訓練、災害時要援護者対策や適正な土地利用への誘導等の対策等の実施を、牧之原市や関係機関に働きかけていく。

さらに、静岡県がホームページや携帯サイトで公表している土木総合防災情報システム「SIPOS RADAR（サイポスレーダー）」（平成 22 年 4 月システム更新）の周知を図り、流域の雨量・河川の水位情報や地震情報・津波予報等の発信を通じて、地域の自主的な防災活動に役立ててもらよう牧之原市に働きかける。

インターネット (<http://sipos.shizuoka2.jp>)



携帯サイト

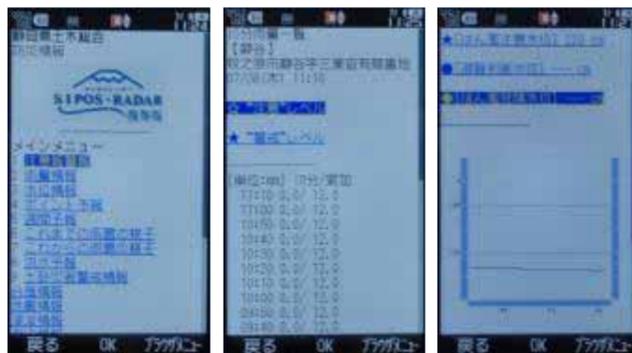


図 4-2 インターネットによる防災情報提供画面（サイポスレーダー）

更に、近年では局地的豪雨が増加し、水難事故が発生する危険性が增大している。東沢川水系は地域住民による河川の周辺利用が多いことから、局地的豪雨対策として生命の安全確保を最優先とした緊急時の避難方法や危険性の周知等を関係機関と連携しながら検討していく。

3 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項

(1) 総合的な被害軽減対策

東沢川流域において、整備目標を上回る洪水が発生した場合において、また、想定を上回る津波や高潮が発生した場合においても、生命の安全の確保と被害の最小化が図られるよう、ハザードマップの作成・公表、洪水や津波等の災害発生を想定した避難訓練、災害時要援護者対策や適正な土地利用への誘導等の対策等の実施を、牧之原市や関係機関に働きかけていく。

さらに、静岡県がホームページや携帯サイトで公表している土木総合防災情報システム「SIPOS RADAR（サイポスレーダー）」（平成 27 年 6 月システム更新）の周知を図り、流域の雨量・河川の水位情報や地震情報・津波予報等の発信を通じて、地域の自主的な防災活動に役立ててもらよう牧之原市に働きかける。

インターネット (<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>)



携帯サイト

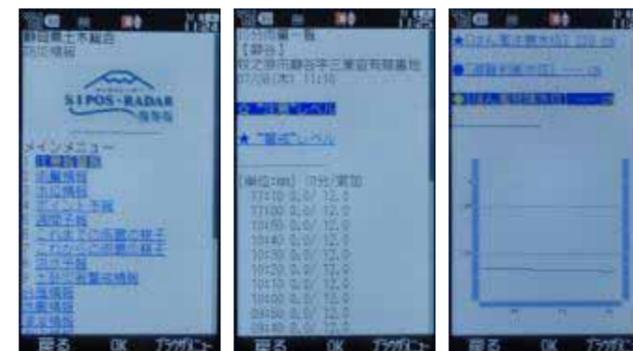


図 4-4 インターネットによる防災情報提供画面（サイポスレーダー）

更に、近年では局地的豪雨が増加し、水難事故が発生する危険性が增大している。東沢川水系は地域住民による河川の周辺利用が多いことから、局地的豪雨対策として生命の安全確保を最優先とした緊急時の避難方法や危険性の周知等を関係機関と連携しながら検討していく。

東沢川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）	東沢川水系河川整備計画（変更原案）	備考
<p>（２）流域における取り組みへの支援等</p> <p>東沢川の総合的な治水対策の推進や河川環境の保全に加え、生活空間にあった河川景観や河畔林と合わさった自然豊かな河川空間を将来へ引き継いでいくためには、住民や関係機関の理解と協力・協働が不可欠である。</p> <p>このため、日頃から地域住民や牧之原市との連携をはかり、河川の治水や環境等に対して相互の理解を深めるとともに、河川清掃など美化活動の支援を通して地域住民の河川に対する意識向上に努める。</p> <p>特に、静岡県において制定されているリバーフレンドシップ制度について啓発活動を行い、地域住民と協働で行う川づくり活動を推進する。</p> <p>さらに、川の日イベントや出前講座などの積極的な開催について、関係機関との協力や支援を行う。</p>	<p>「最大クラスの津波」に対しては、施設による被害の最小化を図るため、県・市の関係部局や関係機関と連携して検討を進めるとともに、ソフト対策を組み合わせた多重防御による津波対策を進める。</p> <p>具体的には、津波避難施設の整備、津波ハザードマップによる浸水想定区域や避難場所等の周知、地域住民へのきめ細かい防災情報の伝達、津波発生を想定しての避難訓練、要配慮者対策、適正な土地利用への誘導等の対策など、被害軽減対策の推進を牧之原市に働きかけていく。</p> <p>（２）流域における取り組みへの支援等</p> <p>東沢川の総合的な治水対策の推進や河川環境の保全に加え、生活空間にあった河川景観や河畔林と合わさった自然豊かな河川空間を将来へ引き継いでいくためには、住民や関係機関の理解と協力・協働が不可欠である。</p> <p>このため、日頃から地域住民や牧之原市との連携をはかり、河川の治水や環境等に対して相互の理解を深めるとともに、河川清掃など美化活動の支援を通して地域住民の河川に対する意識向上に努める。</p> <p>特に、静岡県において制定されているリバーフレンドシップ制度について啓発活動を行い、地域住民と協働で行う川づくり活動を推進する。</p> <p>さらに、川の日イベントや出前講座などの積極的な開催について、関係機関との協力や支援を行う。</p>	